新京日日新聞

皇紀二千五百九十六年

希望と祝福に充ち 昭和十一年開く

畏も國家安泰萬民多幸御祈願 霜深き曉闇四方拜

【東京國通】東の天空を紅に染めてさし昇る初日の出の姿そのままに躍進日本の大いなる飛躍と新なる希望と祝福とに充ち滿ちて輝しくも明くる昭和十一年元旦、この芽出度き旱且　天皇陛下には午前五時半、御束帶黄櫨染御袍の御装ひで神嘉殿南庭に設けられた屋に出御、三條掌典長以下奉仕して四方拜の御儀を行はせられ神宮、山陵をはじめ天地四方の神祇を御遙拜、畏くも國家の安泰、萬民の幸福を御祈願、更に賢所、皇靈殿、神殿に於る歳且祭に出御、親しく三殿に御拜遊ばされ祖宗の深き恩賴を謝し奉り併せてその祐助を御祈念あらせらる

宮中正殿に出御

文武百官の拜賀受けさせらる

【東京國通】四方拜、歳且祭を終へさせられて一且入御午前八時晴れの御膳に着かせられた　天皇陛下には同十時から宮中正殿に

出御

晴れの拜賀式を行はせられる、天皇陛下には陸軍大元帥の御正装に大勳位菊花章頸飾御佩用、松平式部長官、湯淺宮相前行、鈴木侍從長、本庄武官長以下扈從、先づ鳳凰の間に出御、秩父宮同妃、高松宮同妃各殿下をはじめ皇族方に御對面、年頭の御祝詞を受けさせられ次いで各皇族方を從へさせられて正殿に出御、一段高き玉座に御着、大禮服又は正装等に綺羅を飾つた岡田首相以下各國務大臣、一木、平沼樞密院正副議長以下各樞密顧問官、清浦伯、若槻男等各前官禮遇陸海軍大將、親任官貴衆兩院議長、公爵以下勳一等以上同夫人並に勳一等、外國人同夫人等の拜賀を受けさせられ、終つて同十一時から高等官一等以上勅任待遇以上同夫人その他宮內奏任官、同待遇の拜賀を受けさせ給ひ、一且入御更に各國大公使同夫人の拜賀を受けさせられる尙

着御

二日は午前八時晴れの御膳に着御の後同十時から伯爵從二位勳二等以下有資格者に對し午前午後に亘つて同樣拜賀を受けさせられる

迎春の辭

新東洋建設の輝しき使命を擔つて創建された盟邦滿洲國は建國以來外に萬邦協和を唱道し內に王道の實踐をはかり滿蒙の天地に安居樂業の實現のため躍進的國歩……

……幸なるべき將來を控へて建國の偉業は一大試練に直面したのである、即ち完成近き樂土の實現は今日までの餘速なる發展に比して愼重なる態度と眞摯なる建設工作の考究を要望する情勢を招來した、新國家を包圍する對外情勢はどうかといへば對ソ問題は極めて複雜なる事態の下に微妙なる動きを續け外蒙共和國との關係は正に爆發點にも達せんとしてゐる、一方北支那においては自治の擡頭によつて新自治政權の樹立をみその動向は滿洲國にとつて極めて影響的存在となつた、更に國內にあつては建設の一段落と共に關稅收入の減收が豫想されてゐるにも拘らず國費はいよいよ龐大せんとしてゐる、破綻を豫期されてゐる軍縮會議によつて齎らされた我が國の非常時局と共に、不可分關係にある滿洲國の非常時は深化されて、この非常時の彼岸に待機せる幸福を獲得するものは今年の日滿朝野を擧げての決死的努力の賜でなければならない

新春の辭

安逸の油斷に亡び 危機の警鐘に興る

關東軍司令官　南　次郎

玆にめでたく昭和十一年、康德三年の新春を迎ふ、俯しては肅氣溢れ、瑞光輝く滿蒙の大天地に、堅氷を碎いてひたすら建設の途上に躍進を續くる新興滿洲國の姿を眺め仰いでは叡聖文武なる　天皇陛下の御稜威窮まりなく、滿洲國皇帝陛下の御乾德いよいよ顯はれ來るを拜し奉り、一億同胞及三千萬大朋と共に日滿兩國國運の隆昌と伸張とを祝し且祈るを得るは我等の無上の光榮とし、極まりなき歡喜とする所である

烏兎匆々、予が外の重任を負うて渡滿してより一年有餘、此間を回顧すれば昨年仲春四月、滿洲國皇帝陛下御訪日の盛儀によりて日滿一體の國是を明徵にせられたるを始めとし、翌五月には滿洲國政府の內閣更迭ありて人心新となり、近くは昨秋より日滿軍警官民渾然一致の下に大規模の治安肅正工作を實施して劃期的の成果を收め一方重要產業に關し日滿經濟關係の調整確立の基礎的準備を完了し、又治外法權撤廢及行政權調整移讓問題に就ては日滿兩方面に於て其準備を進められ、現地並中央に於る委員會の成立と共に日本帝國の自主的撤廢の方針確定を見るに至りたる等諸事萬般着々進捗して滿洲國獨立の實質は今や牢固として動かすべからざるに至りつゝあるのである

然れども上述の數々は何れも未だ基礎事項に留まり、之を徹底し、之を擴充し、之を具現するは今後にありて更に一段の努力と忍耐とを要するもの殘されある事を認めねばならぬ、即ち滿洲國皇帝陛下御訪日後の詔書は之を國內庶衆に徹底せしめ以て國民の信條と化し、討匪の效果は機を失せず行政機構の確定と宣撫工作とにより廣く且深く王道政治の惠澤に浴せしむるを要する、又經濟工作の基礎的事項は之を具體化し、實現化して民衆の福利と國民の文化の向上に寄與せしめ以て滿洲樂土の現出に資せねばならぬ殊に治外法權撤廢及行政權調整移讓問題に至つては未だ單に方針と原則とを決定せるに過ぎずして、之が具體的研究と實施とは全く今後に在る事は言を俟たない

惟うて玆に到れば今後に於る建設守成の努力は創業の辛苦に優るとも劣らざるは勿論眼を外境方面に轉ずれば南方には北支民衆の間に澎湃たる自治運動の現出するあり北方にはソ滿國境の紛爭絕えず、西方には外蒙亦固く境を鎖して友交に應ぜざるものあり之に絡む各種の案件は滿洲國及關東軍をして益々多事たらしむるのである

斯くの如く帝國の逢着せる非常時は益々深刻の度を加へるあるも、畏々乎として抑へ難い日滿兩國の發展力は幾多の盤根錯節を破摧して本年も亦愈々益々共進展を續くる事を信じて疑はぬ

由來、國家民族は安逸の油斷に亡び危機の警鐘に興る、非常時を轉過して光明の常時たらしむる一に吾人の努力如何に係る、宜敷く荊棘を排し豺狼を鏖し斷乎として邁進又邁進以て新興滿洲國の發展と兩國依存の實現とに全力を傾注すべきである

年頭に際して

內閣總理大臣　岡田啓介

一陽來復昭和十一年の新春を迎へ瑞氣國に滿ち溢れ誠に慶示の至りであります、明治天皇御製に「あしはらの國のさかえを祈るかな神代ながらのとしをむかへて」と遊ばされたのを想ひ起しまして三千年來唯一筋の道を歩んで參りましたる皇國の民としての光榮を今更乍ら深く感ずるのであります、謹みて聖壽の無疆を壽ぎ奉りまするとと共に愈々皇運を扶翼し奉り國威を發揚し……

昨秋は畏くも義宮正仁親王殿下が御誕生遊ばされ國を擧げて竹の園生の彌榮へを壽ぎ奉りました、皇室の御慶事は我々臣民に取つて無限なる活力の源泉でありまして殊に日嗣の皇子生れ給ひ御健かに御成育遊ばされ今重ねて第二皇子殿下御誕生遊ばされ私共は眼の邊り皇運彌々隆なるを拜しまして身中力の湧き出づるを感じ益々奉公の念を固く致すのであります

我國は此の數年間各方面に於て稀有なる時艱に遭遇致しました、之は我國が日々に新に又日に新なる躍進を致して居りますことに伴ふ……

……の下に湧き出ずる國民一致の力に依つて能く之を切り拔け國威は彌が上にも顯揚せられて居りますことは誠に本懷の至りであります、殊に其の建國以來其の整備發展に國を擧げて協力致して參りました滿洲國が極めて健全なる發達を遂げ昨春は皇帝陛下親しく本邦に御來訪遊ばされ兩國の不可分なる親善關係彌々固く共榮の實が着々として擧つて居りまするることは何よりも喜ばしく存ずる所であります、私は此の事に身命を賭して盡瘁せられたる人々の偉業に對し深く敬意を表しまするると同時に今朔北の曠野に於て寒苦の中に馳驅せらるゝ皇軍將士を初め官民の勞苦に深く感謝致……

康德丙子年頭感

滿洲國國務總理大臣　張　景　惠

乾坤玆に改まり早くも建國五年康德三年新政の春を迎ふるに當り、謹みて上皇帝陛下の萬壽無窮を祈り奉ると共に我國家の隆昌を祝福する

余は客年十月中旬より月餘に涉り新省制實施後の全滿主要都市を一巡した、同年五月組閣以來最初の國內視察である、我滿洲國は建國以來僅々四年間に舊政權積年の秕政に萎縮陰慘を極めたる空氣を一掃し、人、物共に革まり、新……

建設の使命彌々大なるものがある客歲四月我が皇帝陛下躬ら盟邦日本を訪問せられ、回鑾後渙發し給へる訓民詔書は盟邦日本と一德一心兩國永久不可分の基礎を奠定し、以て東方道德の眞義を發揚し、以て世界の平和、人類の福祉に寄與せらるべき聖旨を垂明し給へり、詔書の御趣旨は漸次僻地にも透徹して孚として民心に歸趨あらしめつゝあり、余は今年も國民と共に聖旨を遵奉し王道樂土建設に微衷を竭さむ

年頭所感

國務院總務廳長　長岡隆一郎

我滿洲帝國國を建てゝより玆に五年國礎日に鞏く舊軍閥時代曠黑秕政の地は轉じて光明の樂土と化し、百般の施政著々として其の實を擧ぐ、之れ固より……

年頭の辭

關東局總長　大野綠一郎

乾坤一轉して萬象悉く清新、謹みて聖壽の無窮を壽ぎ奉ると共に親王殿下御降誕あらせられ竹の園生彌榮えまし萬……

……顧るに昭和十年は我國に取り內外共に多難な年でありまして、內には天災地變相踵ぎ外は所謂一九三五年と言ふ國際的危機に直面致しましたが、擧國一致克く其の難局を切拔けて來たのであります。熟つら現下日本の國際的地位と其の情勢を考へますと、一層事態の重要性を痛感せしめらるるのであります。即ち今年は國際政局の不安、海軍軍縮會議、北支問題及滿洲國の健全なる發達助成等擧げ來れば幾多の重要問題が國家の前途に山積して居りまして、時局の重大性に拍車を加へて居りますことは、今更ら事新しく言を費す迄もないのであります。凡そ斯る對外的難局は面に於て、異常なる躍進力を以て發展する興隆國家として……

大滿洲國

正隆銀行
新京支店
頭取　安田善四郎

拓務大臣伯爵　兒玉秀雄

昭和十一年こそ 日・滿・支關係を決定的に
北支に於る新事態の推移は 東亞の重大なる岐路

日滿支の尖端的接觸面として複雜化せる三國關係の動向に重要な役割を演じて來た北支那は戰區における冀東防共自治政府の確立、河北、察哈爾兩省を連繫せる冀察政務委員會の樹立により日滿支合作地帶としての意義を强化しつゝあり、更に北支における新情勢の壓力が排日學生運動の擴大と國民黨指導下の反滿抗日的策動にも拘らず昨年末南京政府をして南京會議の開催と日支國交調整委員會の設置を提唱せしめたことは、たとへ南京政府一流のヂエスチユアであるとしても日支關係が再び逆轉せんとしつゝある現情勢において極めて示唆的な動きを示すものとみられてゐる、即ち國民黨の出店とまでいはれ全く黨部の傀儡と化した現南京政府はその欲すると否とに拘らず常に對日强硬態度を强要され政府の存續は排日政策と宿命的關係に置かれてゐるのであつて、最近の前行政院長汪兆銘、前外交部次長唐有壬氏等の親日要人の暗殺行爲によつてみても明らかである、排日抗滿の據城國民黨と右の如き關係にある南京政府が最近形式的にせよ日支關係の全面的調整を提議せることは如何に北支自治運動の全支に對する壓力が影響的であるかを物語るもので、この意味において北支の日滿支合作地帶としての役割は自治政權の樹立を楔機として劃期的な飛躍を遂げたとみるべきである

◇……◇

昭和十一年の日滿支關係は北支における新事態の推移によつて方向づけられるといはれるほど日滿支の三角關係の頂點に置れた北支の重要性は深刻化された、北支の政治的安定は近い將來に於て日滿支經濟提携の第一段階ともいふべき日滿北支を一丸とする經濟ブロツクの結成を促進するであらうとみられ、更に北支をタネルとする日滿貨の全支進出が期待されてゐる、然し乍ら過去十數年來の經驗は我が對支態度をして容易に全面的對支親善を許さないものがある、たとへ南京政府が歐米依存政策を放棄し對日二重政策から轉向したとしても支那における歐米勢力の撤退は幾多の困難な問題を暗示してゐる一方共產勢力の擴大は滿洲國の對ソ問題の複雜化と共に支那自體の問題としても刻々と重大化しつゝある、右するか左するか轉換期支那は重大な岐路に直面して一九三六年を迎へた、とるべき方向は既に決定してゐながら左顧右する支那の態度は結局自滅を招來する以外に何ものでもない一九三六年こそ日滿支關係を決定的ならしめると共に更生亞細亞建設の歷史的諸問題を投げかけてゐるものである

＝皇室の御榮え＝

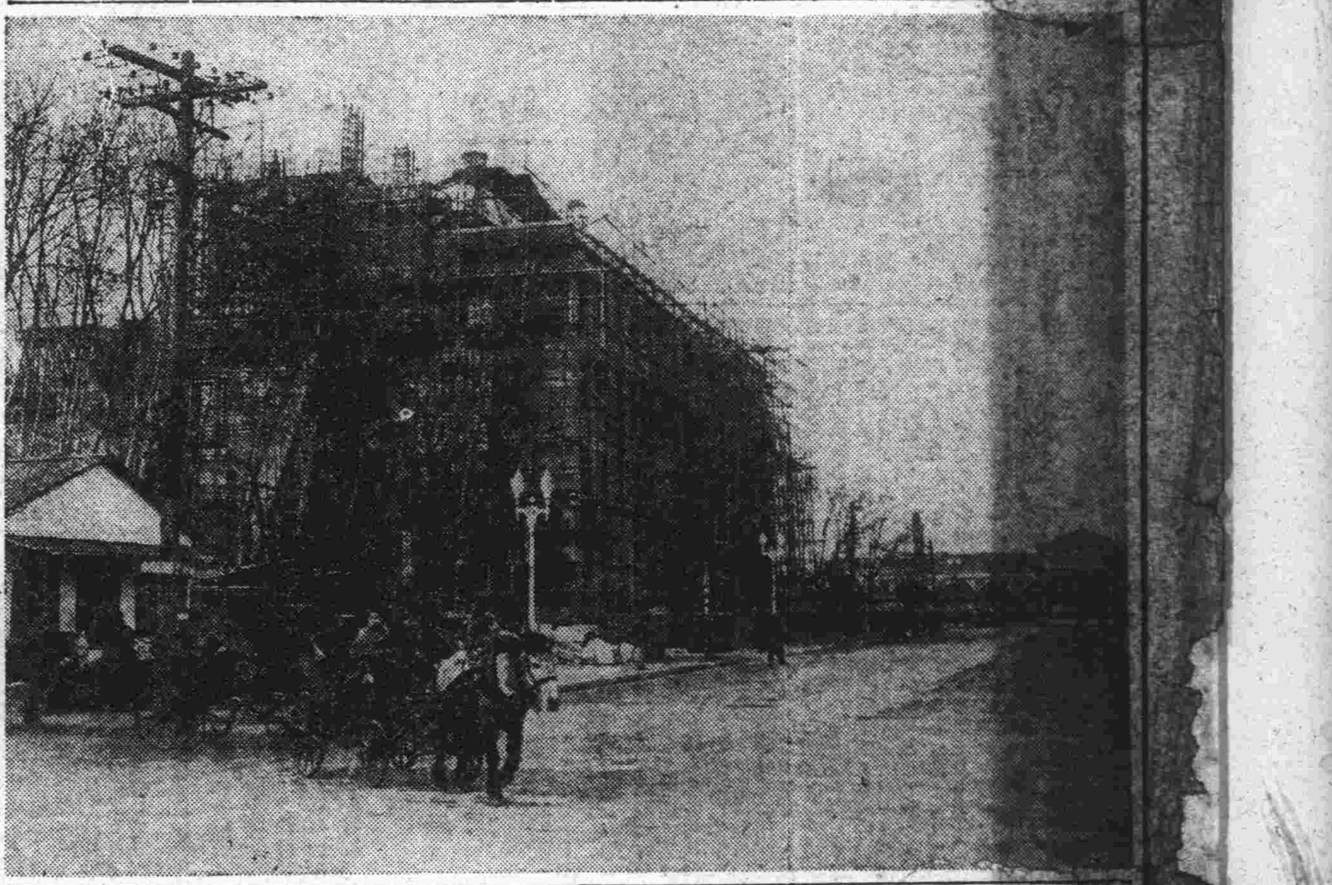
左上皇太子殿下、左下順宮さま 右上照宮さま、右下孝宮さま

新京驛前に建つ 堂々・滿鐵事務所
在京の各機關を一纒めに 愈よ今夏七月竣成

新京驛前中央通に工を急ぐ滿鐵綜合事務所は既に外廓全く成り、今はたゞ內部の整裝を急ぐのみであるが、同事務所は總工費約百萬圓を以て昨年六月着手したもので、地階ともで五階建、附屬第一の廣壯なものである、その面積は地階千九百六十平方米、一階から四階まで各千八百三十九平方米、五階二百三十九平方米、總延坪九千七百二十四平方米で、附屬地第一を誇る廣壯なものである、これが完成すると地方事務所は勿論、鐵道出張所、鐵路總局、商事部營業所、經濟調查會など滿鐵の各機關がこゝに網羅されるはずで

地下室は食堂、調理室、煖房室、使用人室▲一階は直接市民と交涉の多い地方事務所地方係、同經理係、商事部營業所（石炭販賣事務所）▲二階正面向つて右半分は正副總裁室を始め重役關係、左半分は地方事務所正副所長室、庶務係その他▲三階は地方事務所建築土木兩係、大會議室などに當てられ▼四階は鐵道關係の鐵路總局、鐵道出張所、經濟調查會

といつた具合で五階はやがて將來增築の用意として階段用に設けられたものである、來る七月までには全部完成されるはず完成の曉は從來滿鐵各機關がまち〳〵になつてゐた不便が除かれ事務上その他にも受ける惠みは尠くないであらう（寫眞は工を急ぐ滿鐵事務所）



公文程式令の一部改正

滿洲國政府における地方官署の命令、即ち省令、首都警察廳令、哈爾濱警察廳令、縣令、旗令及管理處令は政府公報を以て公布する事となつてゐたが今回新令を以て公文程式令の一部を改正新に地方官署命令程式令を制定し來る一月一日より地方官署の命令の公布を地方官署に一任することとし公布の方法も地方の事情に應じ適宜定め合理的ならしめることゝなつた

新春の辭
大藏大臣 高橋是清

近年我國の產業も次第に發達して生產も大いに增加するに至つたが、國家社會の繁榮も畢竟國民が生產を盛んにして其の所得を增大するに依るの外は無いのであつて、生產の增加は結構なことである、而して生產の增加、所得の增大より更に一歩を進めて所得を蓄積して之を資本として更に新なる生產を起すと言ふことが極めて必要であつて、之がなければ國民經濟の健全なる發達は望まれぬ、資本は之を有益に使へば新なる生產を生じ大なる效用を發揮するものであるが、一度び其の使ひ方を誤れば無駄に死んで了ふばかりでなく時には尠からざる害毒を流すこともある、世間にはよく資本家を攻擊する者があるが資本を所有すること自身に何も罪がある譯ではないその使ひ方の當を得ないことが不可なのであつて、例へば世界大戰の際に成金が贅澤をして自分の一時の快樂の爲に無闇に金を使ひ國民の反感を挑發したことがあるが、斯ることが資本に對する攻擊を惹起するのである、抑々資本の蓄積にはその個人の努力に依る所が多いことは申す迄もないが、國家社會の恩惠の大なることも亦忘れてはならぬ所である即ち國家社會の恩惠により生命財產の安固が保障され所得の收得並之が蓄積が許容せられるのである、之は治安が破れて生命財產の安全が保たれぬ國や又共產社會の如き個人の自由なる所得收得を許さぬ世界を想像し比較して見れば直ぐ判るであらう、資本家たるものは此の點に鑑み資本の使用に付大いに戒心する所がなければならぬと信ずるのであつて、その蓄積し得たる資本が私物にして私物にあらず畢竟國家社會より一時その管守を依託せられたる公物にも比すべきものであることを思ふが使用に際しては常に國家社會に奉仕するの態度を以て臨むべきである、資本を無駄に使つたり、或は自己の利慾の爲に使ふが如きことは嚴に之を避けて國民の共存共榮を念として國家社會の爲に使用し增殖することを心掛けねばならぬ

我國は經濟上比較的後進國であるため資本の蓄積未だ足らざるものがあるから國民たるものは益々生產を振起し、所得を增大して資本の蓄積に努めねばならぬ、而して資本を蓄積し得たる者に對しては國民に於ても徒らに之を嫉視し又は排擊することを愼しむと共に又資本家自身に於ても其の重大なる債務を忘るゝことなく、上に述べた如き精神を以て資本の使用に當つたならば資本家も國民の敬愛の的となり勞資の協調の如きも自ら達成せられ階級鬪爭の如きは影を潛めるに至るであらうと思ふ

昭和十一年の新春を迎ふるに當り一言所感を述べて資本家並一般國民諸君の參考に供する次第である

滿洲國協和會
中央事務局次長 平島敏夫

滿洲國協和會は思想建國團體として公認せられたる唯一の擧國一致的團體にして、其使命とする所は滿洲國建國の大精神を普及徹底透徹せしめ三千萬國民をして渾然一體と爲し官民協力一致、以て安居樂業の王道政治を實現し、此に東方道德に基く、新興國家を完成し、以て道義國家の模範たらしむるに在りますが、更に進んで之を中外に及ぼし、現在世界に蔓する物質偏重の歐米文化を是正し數百年來歐米の帝國主義的壓制と、資本主義的搾取の下に呻吟せる亞細亞同胞諸民族を其の桎梏の苦惱より救出し、則ち東洋文化の復興と亞細亞民族の自由と獨立を達成せしめんとする大理想を有するものであります、昨年五月二日渙發せられたる回鑾訓民詔書に仰せられたる「東方道德の眞義を發揚し之を四海に光被せしむるに在ります」其の基く所は天道にして、其の行ふ所は人道、而して其の冀求する所は正義であり、平和であり、道義滿洲國の建設であると共に大亞細亞の復興であります、換言すれば世界の維持であり世界非常時の匡救であります

回鑾訓民詔書に「朕日本天皇陛下と精神一體の如し」と仰せられた御趣旨を仄聞するに皇帝陛下御訪日の御目的は日本皇室及日本國民に對する御感謝の御挨拶と、一は御理想に就て御懇談有り度き御趣旨であつたとの事である、而してその御理想とは今や世界は非常時である、其原因は物質偏重の文明と個人主義的我利我欲の精神に在る、其病根を除き健全ならしむるには東方道德を以てするの一途あるのみ、而して東方道德の眞髓は日本に於て醇化せられ、教化せられ、而も日本は之を行ふに十分なる力を具備す、滿洲國の建國は實に其第一歩である、道義によつて永久に結ばれたる滿洲國は日本と共に此[illegible]

[illegible]右に關し兩國陛下の御精神は全く一であるを仰せられたるものであつて、其の天地を貫き四海を壓する雄渾なる御理想には全く恐懼の外有りません

而して其東方道德の眞義とは何ぞ訓民詔書の中に「政本の立つ所仁愛に在り敎本の重ずる所忠孝に在り」と仰せられた仁愛忠孝であると信じます仁愛の精神たるや之を小にしては親子の愛即ち孝となり夫婦の道となり上下の關係にては忠となる、朋友隣邦に對する信義となり、大にしては民族の協和となり四海同胞、萬邦協和となる、古來支那に於て孝を以て道德の本としたが要するに仁愛の精神であり、佛道に所謂大慈悲大乘であります滿洲國の特性として誇るべき精華は民族協和による建國である、而してその民族協和たるや仁愛の發現であり、東方道德の顯現である乃ち東方道德の眞義を發揚して光被せしむる第一歩は民族の協和に在る、滿洲國が新興國家として世界に臨み、世界の指導となる所以亦此處に在ると存じます、民族協和は利害の打算に因るものに非ずして、天道人道に基く大精神であり且つ世界維新の第一歩であることを忘れてはならぬ、滿洲國協和會が民族協和を提唱し、實踐する所以亦此に在るのであります建國第五年の元旦を迎ふるに當り吾人の重責を痛感し玆に所感を述ぶ、叱正を賜はらば幸甚

南滿洲鐵道株式會社副總裁 大村卓一

歲首に當りまして過ぎし一年を回顧しますれば陽春四月滿洲國皇帝には御訪日の盛事行はせられ兩國斷金の交は愈鞏固を加へ新國家の昌運は炳乎として昭かに政治社會諸般の工作進展と相俟つて交通建設、產業開發の事業は愈本格的軌道に進んだのでありましたが我社は之が樞機に參畫して眞に天下の公器に愧ぢざる眞面目を發揮し來つたのであります、就中曩に滿ソ兩國間に北滿鐵道の移讓成るや我社は委託せられて之が經營を管掌するに至り多年待望せられました滿洲鐵道經營の合理化は漸く實現されて新國家交通事業の整備統一が名實共に完成を見ましたことは寔に御同慶に堪えませぬ所であります斯く致しまして全滿八千粁に及ぶ鐵道網の經營は嘗て見ざる社業の擴張强化を招來いたしましたが此間に於きまして彼の幾多危險と難工とを豫想されました京濱線軌道狹小工事を世界鐵道界環視の裡に敢行致しまして新國家鐵道運輸事業に一新紀元を畫し更に近くは北鮮羅津の築港完成を告げて日滿經濟提携に一段の拍車をかけるに至りました等何れも日滿官民の絕大なる支援に負ふこと大なるを思ひますれば轉た感謝の念に堪えぬものがあります、斯る努力の跡を顧みまするにも明け行く年を展望致しますれば自らなる一層の勇往邁進の念禁じ得ざるものがあります

顧つて眼を外に轉じますれば日滿兩國を繞つて世界政治經濟界の動向はなほ幾多の疑雲に包まれ明日の事態は豫め忖度を許さゞるものがあります、殊に支那問題を中心に東亞の天地にはなほ幾多の波瀾と難關とが重疊する秋に當りまして祖國大陸經營の前衞たる重責を擔ふ我社使命の重且大なる蓋し此時に過ぐるものはありません

更年初頭に當りまして八紘宏謨の下今にして新なる使命に勇躍して進む四萬社員と共に渾然一體となつて總裁の統率の下に粉骨碎身此重大時局を克服し得て天下の負託に副はんことを期するものであり[illegible]

[illegible]れの名士錄

[illegible]第二[illegible]令長官[illegible]軍大佐[illegible]養內閣[illegible]年一月[illegible]高輪町

[illegible]縣に生[illegible]密顧問[illegible]兵第一七[illegible]軍事參議[illegible]十二年參[illegible]二年樞密[illegible]

[illegible]年石川縣出身、陸[illegible]

[illegible]大將、明治卅一年少尉任官步兵第三旅團長、東京灣要塞司令官、陸軍士官學校長、教育總監部本部長、近衞師團長、朝鮮軍司令官に歷補し、昭和七年四月大將に累進教育總監兼軍事參議官同九年一月齋藤內閣に陸軍大臣親任、同年七月岡田內閣に留任、同年九月辭任、東京市杉並區天沼二ノ三八五番地（自宅）

本庄繁、明治九年兵庫縣に生る、陸軍大學出身侍從武官長陸軍大將、明治卅一年陸軍少尉任官、參謀本部課長、步兵第十一聯隊長、張作霖の軍事顧問、步兵第四旅團長、支那公使館附武官、第十師團長等に歷補し、昭和六年關東軍司令官、同七年軍事參議官、八年四月大將に累進す、同年四月現職に親補、同年六[illegible]東京市中野區上ノ原町六番地

[illegible]崎甚三郎、明治九年佐賀縣に生る、陸軍大學出身[illegible]

[illegible]事參議官陸軍大將、明治廿一年步兵少尉任官、昭和八年大將に累進軍務局軍事課長近衞步兵第一聯隊長步兵第一旅團長陸軍士官學校長第八第一各師團長台灣軍司令官等に歷任、昭和七年一月參謀次長同年八月軍事參議官同九年一月教育總監親補同十年八月辭任、東京市澁谷區代々木山谷一〇二番地

山梨半造　元治元年神奈川縣に生れ、陸軍大學出身、[illegible]陸軍大將、東京市四谷區[illegible]番地

山本英輔　明治九年生れ鹿兒島縣人、海軍大學出身、明治卅一年海軍少尉任官昭和六年海軍大將に累進、其間海軍大學校長第五戰隊司令官練習艦隊司令官海軍航空本部長第三艦隊司令長官橫須賀鎭守府司令長官等歷任、昭和四年第一艦隊司令長官兼聯合艦隊司令長官同六年軍事參議官七年再び橫須賀鎭守府司令長官同年軍事參議官に補さる、東京市品川區北品川三ノ三二三番地

學者の部

[illegible]生る、同志社大學出身、東京市淀橋區落合一ノ二七四番地

小泉信三　明治廿一年東京に生る、慶應義塾出身、經濟學博士慶應義塾々長兼大學總長東京市品川區北品川三ノ三二三番地

椎尾辨匡　明治九年愛知縣に生る、東大文科出身、文學博士大正大學教授早稻田大學講師東京市芝區二本榎町二ノ四番地

田中穗積　明治九年長野縣に生る、早稻田大學出身、法學博士早稻田大學總長日本學術振興會理事、東京市牛込區辨天町七〇番地

末弘嚴太郎　明治二十一年東京に生る、東京帝大法科出身、東京帝大教授法學部長內務省社會局參與、東京府北多摩郡砧村字奈根上ノ合七九一番地

高島平三郎　元治元年廣島に生る、東洋大學大正大學各教授女子高等學園長、東京市本鄕區西片町一〇は二三番地

那須皓　明治二十一年東京に生る、東京帝大農科出身農學博士東京帝大教授、東京市世田谷區世田谷[illegible]

[illegible]一五番地

末井潛　明治九年東京に生る、東京帝大醫科出身、醫學博士東京帝大教授、東京市野區天和町七〇番地

三宅驥一　明治九年兵庫縣に生る、米國留學理學博士東京帝大教授大阪毎日新聞社客員東京市赤坂區青山南町六ノ九〇番地

山岡萬之助　明治九年長野縣に生る、日本大學出身、法學博士貴族院議員日本大學總長東京市麻布區泉町二〇番地

政治家及實業家の部

安藤正純　明治九年東京に生る、早大政治科出身、代議士立憲政友會總務、東京市豐島區巢鴨七ノ一八三四番地

石原健三　元治元年東京に生る、東京帝大法科出身、樞密院顧問官竹田宮附別當、茨城縣參事官山梨千葉高知靜岡神奈川各縣知事北海道長官等を經て大正四年宮內次官、同十一年貴族院議員勅選、昭和二年樞密顧問官に親任、東京市[illegible]區五反田[illegible]

[illegible]ノ五七番地

小川鄕太郎　明治九年岡山縣に生る。東京帝大法科出身法學博士代議士立憲民政黨顧問東京市中野區櫻山町三一番地

加藤鯛一　明治二十一年愛知縣に生る。明治大學修學、代議士國民同盟幹事長、東京市澁谷區代々木富ヶ谷町一四五六番地

津島壽一　明治三十一年香川縣に生る。東京帝大政治科出身、大藏次官、東京市麴町區下二番町六三番地

兒玉秀雄　（伯爵）、明治九年山口縣に生る。東京帝大法科出身、拓務大臣貴族院議員、東京市牛込區市谷藥王寺町三〇番地

馬場鍈一　明治二十一年東京に生る。東京帝大法科出身法學博士、貴族院議員、日本勸業銀行總裁、中央大學顧問、東京市芝區二本榎町二ノ二三番地

渡邊千冬　（子爵）、明治九年東京に生る、東京帝大法科出身、貴族院議員、宗秩寮審議官、大阪毎日新聞社取締役東京市麻布區材木町六九番地

藝術家の部

金子薰園、明治九年東京に生る。歌人、東京市杉並區上荻窪町四九四番地

北澤樂天、明治九年埼玉縣に生る。漫畫家東京市芝區白金三光町二六三番地

鈴木傳明、明治三十三年東京に生る。明治大學出身、映畫俳優、東京府多摩郡調布町布田小島

曾我廼家五九郎（本名武智故平）。明治九年東京に生る喜劇俳優、東京市淺草區南光町一八番地

文士

冲野岩三郎、明治九年東京に生る。文士東京市淀橋區下落合三ノ一五〇七番地

加藤武雄、明治廿一年神奈川縣に生る。文士東京府北多摩郡砧村喜多見二三七番地

里見弴、明治二十一年東京に生る。學習院出身、明治大學講師、東京市麴町區下六番町一〇番地

近松秋江、明治九年岡山に生る早稻田大學文科出身、文士、東京市芝區白金三光町

新井格、明治二十一年德島縣に生る。東京帝大法科出身著述家東京市杉並區高圓寺五ノ八一一番地

滿洲國
參議府
國務院

新京特別市長
韓雲階

總務處長
植田貢太郎

建國第四年の春
王道の光普く
政務に御多端な皇帝陛下の御日常を拜し奉る

順天安民の大旨の下に新國家建設の輝しい希望に燃えて躍進しつゝある盟邦滿洲國はこゝに第四年の新春を迎へ國礎いよ〳〵固く　皇帝陛下の國民三千萬民衆は漸く安居樂業に安んじ王道の光都鄙に普からんとする秋、國民擧げて欽慕し奉る　皇帝陛下の彌榮えゆく御姿を拜するも畏き極みである

舊吉黑榷運局跡の狹小な宮廷にあつて日夜三千萬民衆の安居樂業のため御軫念あらせられる滿洲國皇帝陛下には毎朝午前九時に辨公室に入らせれ內外の官吏或は外國人士に謁を賜る御事となつてゐるが最近では極めて御多忙にわたらせられ午後二時ごろになつて午餐を用ひられることが屢々であると承る、若し重要な國務がある時には閣員要人を召して商榷せられ、時には夜半に至ることもあらせらる、接見の時間のほか御暇な折には讀書に親まれ時折中庭でテニスなどに興ぜられて常に御身體の御鍛錬に怠りないとの事である、皇帝陛下には御幼少の頃から讀書に親しまされ學問を續けられて來たが、御平生新聞雜誌を御閲讀せられてゐるため世界の大勢に通曉せられ各國の政治についても殊のほか御關心を持たされたその利害得失に關しては明快なる御判斷を有せらると洩れ承る、嘗てある外國人に謁見を賜つた時などはその國の有名なる著述を問はれ、その購求を御依頼遊ばされた事もあり如何に勉學に御熱心であらせられるかゞ拜察出來るのである、又外國語に熟達され日本歷史は勿論歐米の歷史に精通せられてゐる、昨年四月御訪日の折、明治天皇聖德記念繪畫館に御成り遊ばされた時壁に懸けられた八十餘枚の名畫を御覽になつた時などは御案內役の有馬宮司が　皇帝陛下の日本歷史に關する御知識の深く渉らせられるのに唯恐懼感激したと謹話してゐた所からも拜せられる、最近では新聞を通じ又側近者から御聽取遊ばされて北支の自治運動に殊のほか御關心を抱かせられ北支那に民意による樂土建設の實現することを深く御希望せられてゐる由であるが、かゝる御英邁なる皇帝を上に戴き日滿一德一心の協力によつて建國の聖業は數多い荊棘の道を乘り越へて、日に〳〵完成に近づき五族協和を表徴する五色旗は麟麟と全國にはためきつゝあるのである

—○—

瑞光輝く東亞の天地に堂々と躍進的建設の國歩を續けてゐる滿洲帝國は新東洋建設の大使命の達成に向つて進みつゝあるのであるが、この盛業は日滿協力によつて成されねばならないことはいふまでもない、建國の年昭和七年我が政府は「滿洲國は日本と不可分の關係にある獨立國として共に發達を助成せしめ」ると日滿協力の國是を決し同年九月十五日敢然列國に卒先して新國家を承認すると共に日滿議定書の調印を行ひ日本政府及滿洲國政府は日滿兩國間の善隣を永遠に鞏固にし互に其領土權を尊重し東洋平和を確保せんと明示し日滿兩國の緊密なる不可分關係を確立したのである、更に日滿兩國の善隣關係は昨年四月皇帝陛下が建國以來の日本の絶大なる協力に對し深甚なる謝意を表するため御訪日遊ばされた歷史的盛事により萬代不易に强化された、親しく日本を御訪問せられ　天皇陛下を始め奉り日本國民に謝意を表示遊ばされた　皇帝陛下の思召こそ血と汗をもつて滿洲國建設に絶大な協力を惜まない日本との不可分關係を明らかにするものであらう、約一ヶ月にわたり御訪日の盛事を滯りなく終へさせられた　皇帝陛下には御歸國後日滿不可分關係を强調された力强い御言葉を賜り詔書渙發の儀を執り行はされた即ち

「深く惟ふに我が國建立より以て今こゝに到るまで皆友邦の仗義盡力に賴り以て丕基を奠めたり」

と諭し給ひ更に

「朕日本　天皇陛下と誠心一體の如し爾衆庶更に正に此の意を體し友邦と德を一にし心を一にし以て兩國永久の基礎を奠定し東邦道德の眞義を發揚すべし」

と日滿協力の爲御躬ら範を垂れせられたのである、かくて日滿一體の國是を明徴にした御訪日は日滿國交史上に燦然と輝く曠古の御盛儀であつた

—○—

建國の當初に皇帝陛下が三千萬民衆の總意によつて執政に推戴せられた時に「一身の起居に需むる所幾何ぞや、現在百姓多く未だ安寧ならず、若し吾身にして華美の房居に居るときは心に於て極めて不安を抱かん宜しく當事者を戒め華飾を避けしむべし」と仰出されおそれ多くも今なほ一國の君主として他に見ざる樣な狹い皇居に御起居遊され只管國民の安居樂業のみを御念願あらせられてゐる御英邁なる皇帝陛下、東洋人特有の溫和な御人格と强堅な御信念をもつて滿洲國統治の大任に當らるゝ　皇帝陛下こそは新國家の輝しい將來を約束する名器であらせられると共に三千萬民衆の感激おく堪はざるところであり至上の幸福である

滿洲國における子年生れの要人
張海鵬上將は宛かも還暦

張海鵬上將

生れ年を迎へる滿洲國大官を調べてみると今度は非常に少い樣だ、張總理は丁度昨年が當り年だし馮司法部大臣は明年が當り年だ、めでたい子年といへばまづ張海鵬上將がある、光緒二年生れとあるから今年は還暦愈々めでたいと云ふわけだ、日系官吏の中では文久三年生れといふ參議筑紫熊七中將があり宮內府次長入江貫一氏は明治九年生れのこれも子年だ、同年に國道局長直木倫太郎博士もあり、當り年の元氣で全滿の國道を一年に片づけ樣といふ大元氣だそうだからめでたい、めでたい

筑紫參議

入江宮內府次長

若い所では明治二十一年の竹內奉天省總務廳長が光つて居りもう一廻り下つて明治三十三年生れに少壯中の俊秀實業部の美濃部洋次、民政部の川人勝一、主計處の秋田文之、それに同年の光緒二十六年といふ情報處の情報科長姚任の諸氏が控へてゐる、何れも前途洋々多大の期待を持たれてゐる人達だから當り年の勢ひのいゝ所を今年は見せてくれるだらう

直木國道局長

年頭の辭

宮內大臣　熙洽

皇帝陛下御登極の二年王道の施設益々宏く國家の基業益々固し、此れ有識共に知る所なり、今歲律又將に更せんとす矣、此の一年中陛下宵旰勤を憂ひ日に遑暇あらず、四月初旬日本皇室を訪問し酬接紛繁、禮式隆盛、復た各都市を週巡一切を觀覽せられ、海陸往返萬里の程途を歷し新市に回し是を認定す又次で臣工を召見し諄々誥諭せらる、七月盛暑之期吉林雙陽縣境に巡幸し耕稼を省視し農民の生活狀況を察し疾苦する所を問はせられ、兼て京吉國道を巡視せられ政を觀、九月濱江省に巡幸せられ十月馬頭台南嶺の陸軍大演習に巡幸せられ親しく統裁を行ひ以て軍を整し武を經す、凡そ此勤勞は皆國の爲め民の爲めたる所以なり、茲に王春布政の始に屆き陛下體天行健自强息まず將に日に盛んにして加ふる有りて已む無し、惟冀くば上天降祐して時和し歲豐に以て康樂に　せられんことを

參議府議長　臧式毅

我邦建國せられ既に四年を經たり、此萬象更新の時に當り既往の種々の良好なる政況を回想するは殊に賀すべく喜ぶべし、其最良なるものは全滿の官民皆な能く明詔を恪遵し一德一心、協和の精神を以て維新の事業を樹つ、去秋は小なりと雖も災禍あり、而して農村の收穫は尙豐稔なりと稱す、耕作の家は均く喜色あり比れ昔人の所謂「倉庫實して禮儀を知り衣食足つて榮辱を知る」なり、熙和の象拭目して期するに堪ふ、此れ實に國と民との前途に無疆の幸なり若し財政交通教育の建設等諸事業に至りては勇往邁進せざるなく贅述を待つ無し、故に吾國の前途は日に隆盛の觀あり、而して各項の制度典章亦漸次完備す、言念此れに及べば喜び彌々深し、惟だ政治上の發達進展は止境無く窮期無し古語に云ふ「進んで盡忠を思ひ退いて補過を思ふ」と茲に歲首に當り鄙人益々自ら勉めん事を願ふ

滿洲中央銀行總裁　榮厚

康德三年は我が滿洲帝國建國四年の記念すべき年でありますが、此の輝く新春を迎ふるに當り聊か所感の一端を申述べますことは私の最も欣快とするところであります。近時世界各國は何れも不況に惱み之が打開策に日も之足らず苦慮しつゝある際我が滿洲帝國は盟邦日本と共に東洋の一角に四ヶ年にして今日の隆盛を見つゝあることは三千萬國民と共に眞に喜びに堪えない次第であります

惟ふに今日迄の我が帝國發展の歷史は文字通り荊棘の道であつてそれは建國精神に燃ゆる國民の熱誠と、隣邦日本の絶大なる援助が今日の此の實を結んだのであると信ずるのであります。特に康德二年は皇帝陛下の御渡日を始め幾多記念すべき年でありました。又金融界にとつては舊幣回收の完了、日滿通貨統制の實現爲替管理の實施等劃期的躍進を遂げた年でありました。一方に於ては北鐵の讓渡に伴ふ全滿鐵道の一元的統制の完成あり、治安は著しく面目を改め農產物增收を始め產業界又一大飛躍をなしたのでありまして、それらを思ふ時寔に帝國の將來は隆々たるものがあるのであります

私は此の幸ある金融界にあつて常に經濟的の動向と展び行く氣運に順應する方針を採り因て以て最善を盡して居るのであります。去り乍ら帝國の進路には尙多くの難路と障害があるのでありまして凡ては國民の理解と熱情ある協力に俟たねばならないのであります。希くば國民各位におかれても更に一段の努力を以て帝國の發展に邁進せられんことを期待して已まない次第であります

昭和十一年を迎へて
確乎不拔の信念で非常時局を克服

海軍大臣　大角岑生

旭光燦然として皇紀二千五百九十六年の新春を迎ふ、玆に謹みて、寶祚の無窮を壽ぎ奉り、皇國の隆運を祝福し得る事は、吾等眞に無上の光榮にして、今更に新しき感激に堪へざる所である

回顧するに帝國は、滿洲事變を契機として自主獨往、內外幾多の難局を克服して躍進的發展を續け、今や東洋の安定勢力として牢乎たる存在となつた、時に[illegible]雜多岐なる重大對外折衝相次で起り、帝國の內外共に頗る多難なりしにも拘らず、國民の意氣益々伸張し、其の鬱勃たる民族意識は、國內に於て自力更生の一路に邁進し、外に向つては正義の主張を堅持して東洋の平和原則を闡明しつゝある

今や、複雜多難なる國際情勢の裡にありて倫敦海軍々縮會議は進行中であるが、帝國は飽迄、不脅威不侵略の軍備を主張し、帝國々防の安全を確保すると共に、世界の和平人類の福祉を目標として、所信の斷行に進まんとするものである

吾人は列國の公正なる理解に依て、帝國の軍縮主張達成せられ、全世界共存共榮の理想實現せられん事を熱望して已まざる所であるが、萬一、不幸にして列國の贊同得難く帝國の純眞なる努力酬ひられざるに於ては、國防の安全確保の爲に已むなく獨自の見解に從ひ、徐ろに事態の推移に善處せざるべからずと信ずるものである

我海軍は、此の重大時局に於て、其の責務の尋常容易ならざるを痛感し上下一致、最善の努力を以て內容の完璧を圖り、護國の大任を果すに遺算なきを期しつゝある

吾人は、現下の國際情勢に鑑み、帝國の進展途上に於て直面すべき難局も亦更に重大性を加へ來るものとして、豫め嚴肅なる覺悟を堅持するの必要ありと信ずるものである

一般國民に於ても、冷靜に內外の事態と動向とを大觀し、確乎不拔の信念を以て、軍民一致、上下協力、非常時局の克服に精進せられん事を、年頭所感として切望して已まざる所である

外務大臣　廣田弘毅

昭和十一年の新春を迎ふるに當り、日本國民の胸中自ら滿悅を覺ゆるものは近來帝國の異常なる躍進である、我邦は近年產業經濟其の他各方面に長足の進展を遂げ眞に東亞に於ける平和維持の礎石を固めつゝあるが盟邦滿洲國も亦健實なる發達をなし我邦と共に東亞安定の重責を擔はむとして居る、從つて世界政局に於ける帝國の役割も彌が上にも重且大を加ふるに至つたのである

我々が新春を迎へる毎に意を强うする所以は、外諸外國民の東亞に於ける帝國の地位と使命とに對する認識が益々深められ內全國朝野の之に對する自覺が彌々强められることである、然し乍ら悠久なる國家の運命より之を觀れば我々は徒に過去數年間に於ける躍進に滿足すべきでない、益々勤勉努力以て帝國の進運を助け邦家の康寧を永遠に確保すべきである、斯くしてこそ始めて我邦が平和維持の使命を完全に達成して萬邦協和の理想を實現し得るのである

帝國と列國との國交は今や益々親善を加へ經濟及文化の關係も亦彌々緊密の度を加へつゝあるは甚だ欣幸とする所であるが萬物一新の春を迎ふるに當り我々は更に新興の意氣と高遠なる理想とを以て帝國の隆昌と世界の平和とに貢獻すべきであると思ふ

不退轉の勇を鼓し天の試練突破

陸軍大臣　川島義之

皇紀二千五百九十六年昭和十一年の新春を迎ふるに當り謹みて聖壽の萬歲を壽ぎ奉り皇室の御繁榮を祝ひ奉る

昨年十一月廿八日義宮正仁親王殿下御誕生あらせられ、同十二月二日には澄宮殿下御成年式を擧げさせられ新らしく三笠宮家を御創立の御事を拜察し、竹の園生の彌榮えましますことは限りなき聖代の瑞祥にして寔に畏き極みであります

惟ふに皇室の御繁榮はとりもなほさず國家の繁榮であります、しかも寶祚の隆なること天壤と共に窮りなく、國運の前途駸々として躍進を續けつゝありますことは、皇國の眞姿でありまして、同慶の至りに堪えない次第であります、今や皇國は東亞の安定勢力として東洋平和確保の重責を擔つて居るのであります、極東和平の礎石たる友邦滿洲國は、建國以來既に四ヶ年を經過し、その駸々たる發展は列强驚異の的となつて居るのでありますが、經邦は創業よりも難く盟邦の獨立を保全し、その健全なる發達を期するが爲めには今後幾多の難局を豫期しなければならないのであります加之皇國四隣の情勢は列强の重壓未だ去らず寸刻の偸安を許さゞるものがあるのであります、而してこの荊棘を拓き時難を克服致します爲めには、軍民團結の力に依らなければならないのでありまして、擧國の一致を要すること今日程急なるはないのであります

惟ふに刻下の時難は、天の將に大任を降さんとする前途は期して俟つべきものがあるのでありまして、年頭更始一新の際に當り更に不退轉の勇を鼓して、この天與の試練を突破し聖業の[illegible]に邁進しなければならぬと信ずる次第であります

迎春の辭

滿鐵總裁　松岡洋右

新春を迎へて滿洲國も玆に創建第五年目の歷史を展開する事となり、又我輩も昨年八月總裁に就任してから初めての新年を久振りに滿洲で迎へた譯であるが、今年頭に當つて滿洲國及び滿鐵の過去を顧望し、將來を展望するとき、此の年の持つ新たなる意義と重大さが思はれて緊張の念一段と迫るのを禁じ得ない。

我思へば滿洲經濟建設も、日滿兩國の不可分關係に則つた經濟建設綱要に準じて飛躍的に新設、擴大、强化され兩國ブロック經濟確立を目指して、既に石炭電氣瓦斯、鐵鋼、電信電話、航空、採金、銀行等各重要基礎事業體系の確立を見た外、事變來今日迄に新設された各種事業會社總數は無慮三百、其の公稱資本金は實に五億七千餘萬圓の巨額に達して居り、之等の我が對滿資本投下及び諸建設材料の對滿輸出は、其の儘日滿財界に一大活力を與へて、インフレ景氣滿洲景氣と我が世の春を謳歌したものであつた、殊に我が滿鐵に關する限り、新協定に依つて全滿鐵道の建設經營を一手に引受け交通網整備を通じて凡ゆる產業開發の前驅的役割を演ずる事となつた外、其の國策會社たる特殊使命に鑑み、常に諸般の經濟建設上の中樞機關として新事業の創設、育成に大活動を續ける事となり、昭和八年春資本金を倍額八億圓に增資して名實共に世界的大會社となつて今日に至つたのであるが、此の滿鐵事業の非常時的大膨脹も今や漸く平年度化すべき時期に立返つた。

即ち第一眼目たる鐵道建設も第一期計畫（昭和十三年度打切り）の半ばを過して既に重要路線の大部分と見做し昨年北鐵買收の成立と共に今や理想の全滿鐵道經營の一元化達成も近きにありと云ひ得べく又國策的重要事業の建設も石炭液化、アルミ製造其他二三の事業を殘した外大部分を了へて夫等は現に繰業着々製品の市場進出を見て居るので今後に殘された事業は之等の圓滑なる運營と、より精緻なる改善にあるのみとなつたのである。

本年度豫算に就ては既に世間周知の通りプロパーな事業は凡て社內保留金の範圍で賄ひ特別事業に就ても石炭液化曹達、アルミ事業開始、撫順露天掘擴張及びオイル・シェール事業擴張並に壺蘆島築港等國策的重要事業の外は凡て之を削減又は繰延べて極力總額の縮減に努め又五ヶ年計畫の內容も同樣堅實主義の建前から愼重且つ採算重視で立案してゐる

如何に國策事業とは云へ事業として採算のとれぬ樣なものはその國策事業たり得る事に再檢討が加へられなければならぬので國策會社であると同時に民間資本に依存する事業會社たる滿鐵としては今後の運營に當つて此の點飽くまで充分な研究と苦心と努力を以て進むべきであると確信して居る次第で此の點內地財界各方面はもとより軍部の方にも充分御理解を以て我輩を指導し鞭撻して下さるものと信じて居る。從つて又本年度の大問題として我々の關心の的となつてゐる北支經濟開發問題に就ても今は謂はゞ軍部外務が三番叟を踊つて我々事業家は樂屋で化粧にとりかゝらうかといふ處にしか至つて居ないので何とも云はれないが愈々積極的に乘出すべき時が來るとしても其の際の方針なり主義なりは先に述べた處をそのまゝを行ふのみであるといふ事は更めて玆に述べる迄もない事であらう

謹賀新年
新京日日新聞社々員一同

三菱商事株式會社　新京出張所

東亞產業協會　新京中央通

新京居留民會

滿洲國通信社

東亞興業株式會社　新京出張所

南滿洲瓦斯株式會社　新京支店長　太田義一

滿洲鑛業開發株式會社　新京羽衣町四丁目一

東亞煙草株式會社　新京出張所

謹賀新年

皇紀二五九六年

菊地組
菊地佐市
新京中央通二六
電話(3)三三一番 六二六三番

岡組新京支店
新京朝日通七九
電話(3)二七八八番 五九一二番

上木組
新京入船町四ノ二五
電話三―三七四六番

合資會社 五十嵐組
新京八島通四〇
電話三―二九三四番

合資會社 池内市川組 新京支店
深澤常吉
外一同
新京老松町十四

土木建築請負 大高組
新京朝日通八七
電話三―六五七八番

近藤組
近藤嘉壽直
大和通四十一
電話三―五四三〇番

志岐土木株式會社 新京出張所
主任 中村松壽
新京蓬萊町一ノ五
電話(3)二九五九番 二二〇四番

合資會社 鈴木組新京出張所
内田幸助
新京入船町二ノ七
電話三―三九〇五番

辰村組新京營業所
新京老松町一一
電話三―三七四七番

長谷川工務所
新京曙町三ノ二〇
電話(3)三〇二一番 三七五八番

八田組 久田ビル
久田民三郎
新京梅ヶ枝町四ノ八
電話三―四九三〇番

藤井工務所
藤井益槌
新京室町三丁目七
電話三―三一二五番

丸山組
丸山直助
新京羽衣町一ノ二
電話三―二〇七五番

土木建築 渡邊工務所
渡邊長太郎
新京曙町三丁目二
電話三―五八五六番

合資會社 細川組出張所
渡邊長太郎
新京曙町三丁目二
電話三―五八五六番

合資會社 水間工務所
新京永樂町三ノ九
電話三―二五二四番 二―一一五四番

株式會社 松村組
今吉喜代松
新京中央通一九
電話三―三九五二番

砕石、板石、川砂、煉瓦 東茂洋行
池田卯三郎
新京富士町二ノ二六
電話(3)(四)六七九三番 九三四二番

瀧竹三郎

新京市場株式會社

戸田組新京出張所
戸田利兵衛
新京永樂町二丁目十四
電話 長三―三七八七番 三―二六七〇、二六六六番 三―三三〇五、二六六三番

高岡組新京出張所
高岡又一郎
新京朝日通五十七
電話三―三四八五番

社團法人 滿洲土木建築業協會新京分會
新京八島通三四
電話三―二四四一番

橋本組
橋本政木
新京豐樂路一三一
電話二―二八七六番

吉川組新京支店
支店長 西村稔一
新京老松町一二
電話(三)二三一〇番

建築請負 植竹多一
新京永樂町三ノ一二
電話(三)六二八九番 六五〇四番

福海商事金融部 丸福商事營業部 丸山廣衛
新京浪速町二ノ一
電話三―六五五〇番

金龍洋行
新京永樂町一丁目
電話三―四八三五番
支店ハルビン

謹賀新年

南滿洲鐵道株式會社

滿洲國 財政部

次長 洪維國
總務司長 星野直樹
税務司長 源田松三
理財司長 田中恭
技正 西貞吉
秘書科長 徐偕志
人事科長 伊藤博
會計科長 三城晃雄
資料科長 薛永魁
國税科長 田村敏雄
技正 奥田美德
關税科長 永井哲夫
鹽務科長 山梨武夫
技正 佐野忠吾
經理科長 楊培
理財科長 横山龍一
銀行科長兼國有財産科長 松崎健吉
調査科長 洪鑄
榷運署長 魏宗蓮
副署長 熙清
總務科長 高谷大二郎
專賣總署長 姜恩之
副署長 灘波經一
總務科長兼事業第一科長 古木隆藏
事業第二科長 天野作藏
技正 永松並樹
經理科長 傳玉桐
緝私科長 武波善治

南滿洲瓦斯株式會社
新京支店

營業科目
一、電燈電力ノ供給及其ノ附帶スル事業ノ經營
二、當會社ト同種事業ニ對スル投資

滿洲電業株式會社
資本金九千萬圓
社長 吉田豐彦
副社長 入江正太郎
孫徵
本社 新京大同大街康德會館
支店 大連支店、奉天支店、新京支店、哈爾濱支店、營口支店、鞍山支店、安東支店、吉林支店、齊々哈爾支店

大興股份有限公司
資本 國幣六百萬圓（全額拂込濟）
主要業務 當業、造酒、製油、雜貨賣買、財產ノ管理、代理業、公債社債券其ノ他有價證券ノ募集並引受及滿洲土產品取扱
本店 新京特別市北大街第三十六號
支店 奉天、新京、吉林、哈爾濱
營業店 滿洲國內重要地百六十三ヶ所

滿洲火柴公賣承辦處
新京北大街
電話(二)二五〇七番

新京中央電報局長 尾立米喜
新京中央電話局長 尾崎重樹
新京放送局長 長谷川正雄

新京地方委員
新京福祉委員
田中卓二
新京祝町二 電話(3)二一四三番

機械商
松田清商店新京支店
朝日通七十一 電話三一五二八〇番

赤木洋行
新京三笠町三丁目二 電話三一二四七三番

新京百貨店

內科、小兒科
肥後醫院
老松町十六番地 電話三一二三二九番
分院 特別市義和路五〇一 電話二一一二四五番

新京寫眞館
新京百貨店二階 須賀勇

新京鐵道出張所
所長 伊藤太郎

首都警察廳

新京旅館組合

新京
自動車運輸營業組合

謹賀新年

皇紀二五九六年

井上輝夫
岡野勇
本多兵一
渡部重吉
寛淵（寒中に付年賀欠禮申上候）
高田友吉
田中知平
高山勝司
高橋富十郎
常深隆三
中村純一
山中繁雄
瓜谷長造
築島信司
丸茂藤平
馬淵俊一
久下・沼英
葛和善雄
藤原幸次郎
古泉光男
阿部重兵衛
阿部孝作
淺原慶一
齊藤勘七

水越清市
鹽谷末吉
白濱多治郎
志村德造
滋谷創榮
遠藤盛彌
森川莊吉
首藤完
小川亮一
霍田忠雄
古川達四郎
大連市連鎖街 マツヤ洋服店 電話三・三八八八番
大連市監部通 天德信支店 電話二・七八八八番
大連市常盤町 デルコ 電話三・三八六一番
大連市監部通り 花田印刷所 電話二・三四二六番
大連市浪速町 船塚洋行 電話二・四三七九番
大連市連鎖街 體育堂 電話三・二一五七番
大連市二葉町 岩合製版所 電話二・一六八四番
大連市信濃町アジアホテル内 林寫眞場 電話二・五一一一番

大連市西公園町 吉川組支店 電話二・三〇三三番 二・三二九一番
大連市東鄕町六二 清洲運送店 電話二・五八三五番 支店 奉天橋立町一七 寒中に付年賀缺禮仕候
大連市連鎖街 森洋行 電話三・三六三一番
大連市西通七七番地 ラヂオの店 錦光社 電話二・五二四九番
大連市盤城町 浪花鮓 電話二・四七七二番
大連市三河町二番地 鹿兒島鍼灸療院
大連市入船町二番地 合資會社 藤川篤助商店 電話二・四六三九番
大連市武藏町六六 久保田製版所 電話二・八六三一番
大連市浪速町（大連百貨店內） 菊一文字及物店 電話二・四六五四番
大連市山縣通り四二番地 チユーリン商會大連支店 電話二・二〇二五番
大連市大山通り 株式會社 永順洋行 電話二・四三三九番
大連市山縣通り六七 株式會社 乾卯商店大連支店 電話二・五六〇九番
大連市大黒町 協和洋行 電話三・一三八二番
大連市山縣通り五四番地 共榮商會 支店 新京中央通五〇
大連材木商組合

大連 天滿屋ホテル
和洋紙 ボール紙 文房具 模型材料 卸商 大連市信濃町 堀內商店 電話二・四五五六番
大連市信濃町 森井商店 電話二・四二四三番
大連市連鎖街 珍味中心 人氣焦點 扶桑仙館 電話三・二一一〇番
大連三業組合
逢阪町遊廓取締事務所
大連市吉野町八七 鳴戸 電話二・一三四〇番
大連市山縣通り七 割烹 三ツ田 電話二・三五四七番
大連市連鎖街 ワカナカフエー 電話三・三五四三番
大連舞踏場組合 ペロケダンスホテル 東亞會館 大連會館 大連ダンスホテル
大連市信濃町一〇七 河又商店 電話二・四四六六番
大連市常盤町 右文閣 電話三・三三一五番
大連市榮町二番地 浪越洋行 電話三・一〇九五番

大連市外老虎灘 一方亭 電話二・七八七八番 二・七五五二番
大連市雲井町五 南滿大理石工場 笹岡樽柳 電話四・九九三〇番
皮具一式 旅行用具 製造販賣 堀井商店 大連市西通り四八 電話二・三二五二番
大連市監部通三九番地 政記輪船公司 電話二・四一四一番
大連市山縣通り五五山縣ビル 株式會社 飛島組大連出張所 電話二・五四六八番
大連市浪速町 營口 近江洋行支店 電話二・六六七三番
大連市榮町二番地 丸岡洋行 電話三・一三八三番

（新京之部）

註文部 大上洋行 ダイヤ街 電三－二三二四番
既製部 大上洋行 日本橋通 電三－三一二八番
社交ダンス個人教授 アオキ、アカデミー 青木徹 新京百貨店二階

合名會社 大阪橋本組新京出張所 八島通三〇 電話三－四七五二番
畠山組 新京中央通一一 電話三－三〇八〇番
三田組新京出張所 電話三－二四六五番
合名會社 京城阿川組新京出張所 曙町三ノ八 電話三－五七四三番
市瀬工務所 中央通四十二番地 電話三－三二五二番
大倉土木株式會社新京詰所 主任 井上荒太郎 電話三－二一七四番
撫順公司 岩橋敏夫
渡邊洋行 渡邊光治 新京吉野町二丁目二〇 電話三－五九二四番
日本赤十字社新京支部 朝日通 電話二－二四四〇番
洋服、羅紗、毛皮 山崎商店 ダイヤ街 電三－五七六三番
新京 鹿鳴春和記 新京西埠大馬路 電話二－一七五二番
桐タンス 和洋家具商 木村タンス製作所 販賣部 祝町太子堂前 工場 特別市老市場 電話二－一四三六番

募集 新年文藝當選發表

滿洲文化運動の最前線に立ち殊に文藝の領域に於いて傳統的な十七年の歴史を誇り全滿インテリゲンチヤの廣汎な支持を得てゐる本紙はこの新しい年を迎へて去秋規定發表以來翕然と寄せられた應募新年文藝七百餘篇につき各選考擔任者親しくその作品全部につき愼重公平な審査をなしこゝに左の如くその結果を發表する全種目に亘つて、眞摯なる精魂をこめた作品、新興滿洲の眞實相をそこに立ち働く人々の生活と思想とを生き生きと描き出したものが多くしかも優れてゐたことをわれらは大なる悅びとし社外選者、應募者各位に感謝しなほ一層の御後援をねがふ次第である。

一月一日

新京日日新聞社編輯局

短篇小說　編輯局選

❖壹等（該當の作品なし）

❖貳等（賞金各拾圓宛）

▲風俗　山下明作

作者略歷

明治四十四年四月二十四日岡山縣後月郡高屋町に生る。昭和五年三月岡山縣興讓館中學校を卒業後感ずる所あり廣島市外牛田山中の一草庵に起居して二ヶ年間古今の書を讀漁し後出でゝ昭和七年四月關西大學專門部本科商業學部に入學、同十年三月卒業 在學中は學內にて發行さる新聞、雜誌の編輯或は執筆をなす他、文學、映畫等に親しみ今日に至る。

▲渡滿せる人々　下島甚三作

作者略歷

一、本名北村三郞、明治四十四年二月東京に生る、幼時を旅順、札幌、東京にて過す。

二、東京六中を經て一高に進み、昭和六年春都合ありて二學年を中途退學

三、爾後家庭教師、筆耕、コック等に從事、傍ら內田百間氏に師事し原稿整理の事に當る。

四、昭和十年春監察院に勤務今日に至る。

▲ある解放　砂田榮作

作者略歷

大正八年東京下目黑に生れ、昭和元年渡滿、九年大連女子高等學校卒業後現在に至つて居ります。經歷として何等申上げるべきものはございません、創作と申しましては志摩漾子の筆名による「タイピスト」が始めてゞございます。（作者）

❖參等（賞金各五圓宛）

▲奈良の女　新京蓬萊町一丁目七蓬萊莊內二十二號　吉元長男作

本籍は群馬縣。大正三年十月五日東京に生る。幼時より唯東京と、父母に聞かさるだけで、東京の何處か、詳なる事は知らず。五六才の頃より一家川崎に移り、小學、中學時代を同所に送る。昭和七年三月縣立川崎中學校を卒業し、同年四月橫濱商工建築科に入る入學と同時に小生だけ橫濱に下宿し、三ヶ年を送る。昭和十年三月同校を卒業、同七月渡滿し、滿洲國禁錆需品局に入り今日に及ぶ。

▲或る破婚　新京ダイヤ街扇芳會館ダンスホール內　今村久米子作

略歷

一大正三年東京市芝區に生れ、橫濱に成長

一昭和五年神奈川高女卒業と同時に橫濱興信銀行事務員となる

一昭和八年ダンサーに轉身橫濱オリエンタル、ダンスホールへ出場

一昭和十年二月渡滿、奉天明星ダンスホール、新京會館を經て扇芳會館へ出場現在

一文藝を愛好し在學中より雜誌に投稿、本紙縣賞小說に入選

▲生活の季（戯曲）　新京吉野町一丁目二隆泰公司內　淀野家作

▲選外佳作（本紙購讀券各一枚）

▲眞赤な太陽　新京寶淸胡同、政府第二代用官舍一二六號　三崎和彥作

▲雪　新京白菊町五丁目四ノ四五號　宮崎マサ子作

長詩　加藤郁哉選

❖一等（賞金拾圓）　新京豐樂路中央飯店三階廿六號室　棚木一翁

朝

清淨な朝の竈の火ノ子は生活の始まり
俎板におどる庖丁の切味のよさ！
焚上つた飯の匂ひは　とほとい
ドサリと元氣よく投げこまれた
新聞のインクの匂ひも新らしい

曉

國旗が朝風に　夜をはたき
若水を　たたえた洗面器に
曉の光りが搖れた
遠く——
海鳴りが空に昂くひびいてゐた

冬

重い鐵戸が軋んで閉められ
床下の蟲も鳴かなくなつてしまつた
（二重窓は目張をされた）

寂光

公園の枯木に鵲の巢がみえる
入口の制札は
靑ざめた要塞地帶の地圖
セパートがついてきたのにどこかへいつてしまつた
振り返ると

野火

乾反つた落葉か一ひら光つてゐた
紅々と逸原の火、どこまでも炎炎と
寒天の下に展けゆく秋の豪華版

寂寥

曇天の島
林檎の花の雲が塊まつてゐる
私は書物を忘れてきた

※貳等一席（賞金五圓）　新京立信街第二政府代用官舍一三五號長島方　山下明

疲勞

ベッドの上に仰向けに倒れて目を閉ぢると
私の頭腦は遠い宇宙の彼方に一本の空洞を作る
私の思想はずる／＼とその空洞を傳つて遙かに遙かに上昇してゆく
今や私の頭腦と宇宙の彼方と連絡し交流してゐる
それは一本の白金の線であり虛ろな思想の圓筒であり交錯する探照燈である
土星の近くに於いて一四の怪奇な昆虫が泳ぐやうに橫切つて行つた
木星を離るゝ十萬粁の地點に
パラライカの律音が無數通過しつゝある
水星に於いては古代の植物心理學者が手鼻をかんでゐる
そして私の丁度目の上には蜘蛛の巢に引つかゝつた妻の手の指が四本しかない！
寢返りをうつて私はうつ伏す
私の思想は地球の中心に向つて焬坑を掘る
黑い石炭の結晶が飛び散つて古沼となる
吸血鬼が蝙蝠のやうに翳を擴げて私の視野を掩ふ
彼は私の橫腹から鹽田のやうに血を吸ひ上げる
だが私はカバスのやうな化石の中から古代の蓄音機を探し出した
成功だ！
それを分析すると高價な奴隷と印象とペン先と蛤とそして瞬間が出て來るのだ
しかし私は駄目だ！
私の軀は激しい速力で紅蓮の大火炎に向つて落下してゆく

※※貳等二席（賞金五圓）　大連市桃源台六五ノ二加藤方　間地樹郎

雪日抄

眼を閉ぢ
千々に輾割れてしまつた日
青い壺の中に一翅の蝶の舞ふを見る
くれかた何處からともなく
黑い枠の葉書がとゞく
村の儘は知つてゐるのかしら
この疎林の奧に
森閑としじまなさびしさをたたへてゐる沼を！
そして肉體よりも明るく光つてゐる沼を
黄色い花が咲きましたよ——
誰かがつげていつた
檢溫器に手をふれ
かすかに
春のにほひのこもるものがある
壁の窓で
氷雨はつめたく體溫をぬらすばかりだ
子供が泣いてゐる
繪のない繪本をまへに
昨日と同じ時刻なのか
ピアノの音が響いてゐる
灯の消えた園の方で
一つ、一つ
白い毬のやうに
（一九三五・一一・二四）

選外佳作（本紙購讀券一枚宛）

▲蒙古の詩　奉天木曾町一〇由野館五號　吉田微

▲母想　新京吉野町一丁目二隆泰公司　淀野家

▲病床吟　新京入船町二ノ五中山方　松本夜詩秋

短歌　八木沼丈夫選

天（賞金五圓）

新玉の年立ちぬとて身寄りなき北平に姉はわびしく居らむ　新京平安町二丁目八號ノ三　石田幸

地（賞金三圓）

この日頃寒さきびしも教へ兒の筆もつ手にもあかがりの見ゆ　新京白菊小學校內　金澤虛空

人（賞金二圓）

かへり來る牛のひとむれ靜かなり夕陽あかあかとかがやける野に　哈爾濱亞細亞ホテル內　北見皓一郞

佳作（本紙購讀券）

移り住みて今ぞ迎ふる新年の初日の光に心ひきしまる

ほのぼのと明けゆく空に忠靈塔ゆるがぬ姿黑々と見ゆ　新京市崇智路三一六川人方

當地守備隊に慰問品を送る　田中重忠

守備兵に贈物すと兒童等が持寄りしもの高く積み置く

女生徒は唇毛糸もて靴足袋を編みて贈りきあはれをみなご　四平街北八條二一ノ二ノ一　潮旬之介

ガラス窓に夕べひととき降る雨のかそけき音を聞くはしたしき

移りきて住みよき家のうれしさを飯よそひつゝ夫と語れり　新京水仙町ノ二二警察官舍第百五十六號　鈴來幸枝

選外佳作

衛兵の息こゞる夜の月冴えてただしづかなり國境の村　新京　鈴木みち子

吾がいま正眼に向ふ日輪に祈り心のおのづからなる　新京　關谷ふぢ

矢玉みな盡きなばつきねしゝむらのたまもて打たむわれはつはもの　南嶺　濱田生

俳句　石原沙人選

天（賞金五圓）

匪をきかず初日あまねく野を浸す　新京錦町四丁目陸軍官舍三五池田方　名塚好兒

地（賞金三圓）

銃眼へ一條ありぬ初日影　新京桔梗町陸軍官舍二九號　井上たけを

人（賞金二圓）

初凪の船路の雲は遠きもの　四平街〇〇〇〇兵第〇〇隊本部　森五味子

選者吟

初明りさしぬ長城海に消ゆ　沙人

佳作（本紙購讀券一枚宛順不同）

久しぶりの歌がるた哉子にまじる　住所前出　井上たけを

風のうねり見ゆるが雪の吹溜り　新京崇智路集合住宅六三號　鈴木愛道

大馬路は銅鑼に胡弓に春めけり　同　右

くるくると羽子舞おちぬくらくなる　新京市長慶街順天寮　服部勇

初晴や興安大路どこまでも　新京東三馬路白雲會內　村上多二

元日のはや灯の見えて家路かな　新京錦町四ノ一九　佐久間三樂

選外佳作（順不同）

初詣で晨の蹕の灯に佇てり　新京　名塚好兒

電鍵（キイ）守る窓の星座に年果てぬ　同　同人

旅やけの父もまじりて家の春　新京　井上たけを

行けど行けども初凪の空曇く　四平街　森五味子

默々と立つ衛兵や月凍る　新京　鈴木愛道

つわもののくずさぬ膝や鏡餅　新京　三樂

羽子の音きこゆる部屋にとほしける　同　服部勇

羽子の音きこえて居たる話しかな　同　同

鐵骨の出來しまゝなり初霞　新京　村上多二

初日影凍れる木肌光りけり　同　同

若水や雪に今年の第一歩　同　松谷直資

まのあたり島の鳥居や初霞　同　俠岡重峰

元日や靜かに窓を開きけり　同　鹽山治志

鳥追やしがない胸を緋鹿子に　同　堀越政治

初夢を書かでやみたる日記かな　同　柳士

川柳　青龍刀選

天（賞金五圓）

子の破る障子の穴へ春が覗ひ　大連市黃金町八六ノ七ノ一　渡邊斌

地（賞金三圓）

金持になるやうな氣の若い禿　新京西七馬路英國醫院胡同　山口シナ子

人（賞金二圓）

編物はいつ出來るのと又聞かれ　新京曙町二ノ二三　堀井清子

選者吟

陣中の屠蘇はぼりぼり嚙み碎き　青龍刀

佳作（本紙購讀券一枚）

滿洲へ何しに來たか交番所　新京關東軍司令部食堂　榎本宗一

斷髮へどうのつかつた高島田　大連市二葉町二二　酒井鷹蹊

片言の日本語で道教へられ　新京西四馬路福一號向井方　小松津久男

御近所へ隱れまわつて初島田　大阪市東區道修町二ノ一藤澤友吉方　松波晩花

巴焼かへす手で萬金をなし　吉林大馬路名古屋ホテル內　福本幸一

選外佳作（順不同）

足音をさせて廻禮引つ張られ　大連　渡邊斌

正月の餅がほんとうの餅の味　新京　山口シナ子

討匪行慰問袋へ書く年賀　大連　酒井鷹蹊

鐵かぶと締めて恩賜の屠蘇を受け　敦化　齋藤房子

門松をまたくゞるかと隱居云ひ　大連　黑瀧音一

數の子に健全な齒をほめられる　平壤　岡田實作

廻禮の朝どぶ板をふみならし　敦化　谷口興三松

子の貯金お役にたつた感謝狀　敦化　向山天即無

春七日過ぎて冷めたり作業服　大連　渡邊雨明

繩人にすまない無沙汰三ヶ日　平壤　龍興秋外

爪楊枝初刷を見る心持ち　同

チヤガショマとニイヤは屠蘇にかしこまり　新京　陽氣郎

生醉は滿語もまぜて管をまき　新京　田中重忠

ペーチカに外は零下の風が切れ　同人

齒の痛み好きなひとさへうるさがり　新京　凡々

選後記

▲待望の新年文藝は愛讀者諸兄姉の熱烈な御後援と山なす御寄稿によつて、昭和十一新春初頭の滿洲文藝界に、力强く呼びかけることが出來たのは、編輯同人としても、欣喜と感謝に堪えない次第である。

▲紙面の都合によつて、當選短篇小說及び長詩、俳句、川柳の選外佳作の一部又は全部が甚だ遺憾乍ら、發表することを得なかつた。短篇小說及び長詩は新春の本紙文藝欄に順次發表することに決定した何卒御期待を願ひたい。

▲終りに諸兄姉が來るべき滿洲文壇に新たなる熱意と野望を以て精進せられんことを祈つて迎年の辭に代へることにする

學藝部同人　大內隆雄　和田郁夫　近東綺十郎

謹賀新年

吉林鐵路局
局長 張恕
副局長 西川總一
總務處長 袁嵩瑞
總務副處長 神代新市
經理處長 渡邊正太郎
機務處長 鈴木信次郎
産業副處長 孫孝恩
警務處長 劉元曖
警務副處長 清水助太郎
喪中ニ付年始ノ御挨拶御遠慮申上候　運輸處長兼營業處長 田中末治

吉林省公署
省長 李銘書
總務廳長 中野琥逸
民政廳長 趙汝楳
警務廳長 河內四郎
教育廳長 張書翰
實業廳長 羅振邦
外職員一同

吉林市政籌備處
處長 徐家桓
外職員一同

第二軍管區司令官　陸軍上將勳一位　吉興

名古屋旅館　電話 二二〇〇・二二一〇番

吉林旅館組合　吉林大馬路

南滿洲鐵道會社鐵路總局指定旅館　日清ホテル　吉林大馬路　電話 二〇〇四・三三七八番

吉林木材興業株式會社　電話二七〇二番

永吉縣公署

吉林日本總領事館朝鮮課長　松島親造

市政籌備處　吉野不二雄

大同林業事務所　所長 村岡元市　所長代理 木下秀教　吉林省城二道碼頭

吉林無盡株式會社　電話二六二五番

吉林警察廳長　孫仁軒

滿洲國協和會吉林省事務局　事務長 小川增雄　事務長代理 高附榮次郎

吉林稅務監督署　署長 劉昭衣　副署長 早借喜太郎

吉林自動車同業組合

大同洋灰股份有限公司　吉林商埠地大馬路一七九　電話 本店 二三三八、二五七六　工場 三〇八二、三〇八三　夜間 三〇〇六

カメラと美術の店　光陽社　電話三四二〇番

裕泰號　吉林大馬路

吉林同文商業學校長　佐久間弘雄

日本小學校長　寺田政治

有藤立生

吉林精米所　吉林大馬路　電話三二二三番

カフエー　日滿會館　電話二八四三番

木材石炭自動車　泰山洋行　電話 二三四六・三三六四番

森泰號　吉林新開門街　電話三三八〇番

永吉地方檢察廳檢察官　渡邊蘭治

吉林料理屋組合　電話二九八三番

ダンスホール　白山會館　吉林三緯路　電話二七二〇番

新京地方委員 孫化南

新京商工會議所 會頭 石崎廣次郎

大阪朝日新聞社 新京支局長 吉田淳

大阪毎日新聞社 新京支局長 櫻井重義

日本電報通信社 新京支局長 藤井祥正

滿洲日日新聞社 新京支局長 佐藤武雄

盛京日報 新京支社長 湯畑正一

同盟通信社 新京支局長 小野敏夫

新京齒科醫師會

大毎社 田中勘助

大和ホテル 支配人 川原久一郎

唯一公司精米部 橋本勝茂

秩父屋呉服店 新京銀座 電三一二九七〇番

金華堂時計店

金城靴店 東二條通

三浦洋行 ダイヤ街

峰長春堂 吉野町二丁目

森野商店主 森野常太郎

船越商會 日本橋通

生そばうどん 丸長

山本商店 祝町二丁目

大葉商店 大和通り

やまき呉服店 吉野町二丁目

奴壽し 東一條通

日隆號精米所 金道根

炭安商店 室町二丁目

毛糸專門 紅屋 祝町二丁目

生そばうどん 丸善 祝町三丁目 電(三)三三一二番

小林履物店 新京銀座 電(三)二三四四番

丸三洋行 東三條通 電(三)三〇二六番

新京疊店 鶏殿新十郎 東一條通 電(三)三四四一番

神谷工務所 神谷與重

森洋行新京支店 新京中央通 電話(3)二六三五番

三富公司 三田逸夫 新京朝日通八五

大山木廠 大山龜藏

永島疊店 新京三笠町四丁目五 電話三一三四六一番

新京記念公會堂食堂 電話(三)四八〇四番

三宅牧場 三宅濱治

ミノルヤ果物店 東一條通三四 電話(三)五四六二番

横濱屋 店主 鎌田源吉

鶏殿兄弟商會 鶏殿長壽惠 電話(3)二四八二番

パーマスコット 三笠町二丁目 電話(3)二八六九番

カフエーゴンドラ ダイヤ街 電話(3)三四七四番

てつち生洲 新京ダイヤ街 電話(3)六一四一番 九五四番

サロンモナミ 三笠町三丁目 電話(3)二九三〇番 三三六二

新京寫眞協會
乾寫眞館 電話(3)三〇二五番
林田寫眞館 電話(3)二一一二番
岡哲生 電話(3)五三〇三番
吉岡寫眞館 電話(3)三六〇五番
永清寫眞館 電話(3)五九五二番
中川寫眞館 電話(3)三七六一番
臼井寫眞館 電話(3)三四五〇番
山本寫眞館 電話(3)二八五三番
藤坂寫眞館 電話(3)二二一三番
二葉寫眞館 電話(3)三九四二番
光園社寫眞場 電話(3)四八七七番
三橋社寫眞館 電話(3)六五七一番
森脇寫眞館 電話(3)一六九三番

株式會社 大林組新京出張所

新京附屬地 質屋營業組合

社團法人 日滿土木建築協會
新京八島通三十四
會長 堀三之助
常務理事 石田茂

新京第一 料理店組合
富士町二丁目六
電話(三)二三九三番

新京 食料雜貨商組合一同

ユーモア小說

スキーと接吻

相澤佐門

何しろ北海道の女學生と來たら勇敢だからね。僕は其時分の中學で、スキーでは先づ第一人者だつたよ、その僕が女學校の隨一の奴に――正直なところ一目おいてゐたんだ女つて奴は糞度胸があるんだね。ジャンプなんかだつて、僕らはジャンプ台の處まで滑つて來て、急に怖くなつて横へそれることがよくあるんだが、その女と來たらコンディションが惡くて飛びそこねて引くり返ることがあつても平氣なもんだ。そして僕らが臆病に横へそれたりすると、下から友達と一緒に大口をあいて笑ふんだ。癪に觸るつたらない

その女、家が近所にあるものだから、朝學校へ行く時には何時も一緒になるんだ。彼奴はいつでもスキーに乘つて行きやがる。僕は母親が八釜しいものだから、三度に一度は徒歩で行かねばならない。すると彼奴は後から來てすーつと僕を追越し乍ら、散々からかふのだ。

『お轉婆！お前なんぞ誰もお嫁に貰つてやらないつて云つてるぞ』

と云つてやると

『私は北海道の掠島の所へなんぞ金輪際オヨメなんて行きませんよ。卒業したら東京へ行くのよ』

生意氣に肩を聳やかして、あれつと思つた時は、もうつと先の方を滑つてやがる。それが却々のシャンでね、脚付も腰付も全く飛切なんだ。――その頃の僕の眼にはさう見えたんだな――僕は女の後姿を見送り乍ら胸がドキ〳〵して煮え返るやうだつた。何しろ、お饒舌りの、きかぬ氣の女だつたから、僕は口で喧嘩をしたら、一度だつて勝つたことはなかつた。

◇……◇

或時も僕は一緒に並んで滑りながら

『僕は君が、そんなにガチャ〳〵とお饒舌りさへしなければ、君を好きになつてやるんだがな』

と、少し赤い顏をして云つてやつたんだ。

『私を好きになるづて？』

彼女は不敵な笑ひを唇の邊りに浮ばせて肩をすくめたが急に方向をかへたので、僕は彼女のスキーに衝突して、忽ちすてんころりと雪達磨になつて了つた。彼女はそれを見て大口をあいてから〳〵と笑ひながら

『子供のくせに生意氣いふと承知しないわよ。私の相手はね、あなたのやうな鼻垂れの小僧ぢやないの。私はこれでももう十八よ』

かういつてぐん〳〵行つて了つた。僕はその時こそ憤然色をなして、奴の後を追つたね。

だが、相手もさるもの、どん〳〵逃げて行くんだ。三十分程も眞白な雪の上を追ひまはした揚句、僕はやつと女を摑まへた。摑まへた彈みに、二人ともころ〳〵と雪の中へころがつてしまつた。でも、僕はいきり立つてゐたから、轉がり乍ら女から手を離さなかつた。が女が何か大聲で喚いたものだから、僕はさうはさせまいとして、×××で女の口を塞いだんだ。外から見ると一寸接吻でもしてゐるやうに見えるがね、そんな生優しいんぢやないんだ。そして手では一生懸命に女のお尻を抓つてやつた。ざまあ見ろだ するとは女ぐたりとして、しく〳〵泣き出したんだよ。これには僕も弱つたね、僕は初めて惡いことをしたと思つで、僕はやさしく女を抱いて今度は本物の接吻をしてやつたんだ。

僕らは雪の中で夕方迄さうしてゐた。ちつとも寒くなんぞなかつた、何しろ若いんだからね、却つて雪の方で僕らの熱に驚いて溶けたくらゐだ

向ふの森に月が出て、女の顏を青白く照した。

『きれいだな』

『ほんと、きれいなお月さんだわ』

『いや、君の顏がだよ』

『あら、恥しいわ』

それからはもう僕をからかつたり、僕を嘲笑つたりするやうなことはなくなつたよ。

君、女つて實に他愛もないものだね。たつた一つの接吻で征服されて了ふんだからね

――すると、今迄、傍でにや〳〵笑ひ乍らきいてゐた山上氏夫人が、急に抗議を申し込んだ。

『あら、あなたが後でごめんね、ごめんねつて百度ほども繰返したことは、ぬかして了つたのね』

賀正

日本タイプライター株式會社
新京出張所
新京朝日通八十一番地
電話（3）三三三八
五六四八番

合資會社
阿川組
宇野常吉

中央ホテル
新京中央通
電話代表（3）四一一一番
電話（3）六三四〇番

株式會社
長春座
新京吉野町三丁目
電話（3）三一三四
五七六六番

甘栗太郎
新京吉野町二丁目
電話（3）二八八七番

新京
自動車營業組合

一九三六年！
年頭の御容姿を
美しく麗しく
永久の記念に殘しませう

PHOTO. HAYASHIDA. STUDIO

林田寫眞館

中央通り一七警察署向
電三（二）二一二番

責任撮影
入念仕上

賀正

新春の第一日に先づ日記と御寫眞を！

光園社寫眞場

日本橋通二六
電話（3）四八七番

中古寫眞機部も本年は
一層活躍致します
御利用願ひます

謹賀新年

皇紀二五九六年

合資會社
清水組新京營業所

新京驛區長一同

新京洋服商組合
石田洋服店
富屋洋服店
富來長洋服店
佐藤洋服店
横田洋服店
勝又洋服店
井上洋服店
大上洋行
泰盛洋行
松田洋服店
盛岡洋服店
野田洋服店
吉原洋服店
エスヤ洋服店
戸板洋服店
小川洋服店
山崎洋服店
宮地洋服店
ナカヤ洋服店
下田洋服店

司松釀造元
大松號
興安大路四一三
電話(二)二七九二番

京呉服
平田呉服店
興安大路臥龍ビル
電話(二)一三一四番

林屋自轉車商會
興安大路六一八
電話(二)一三一四番

エスヤ洋服店
豐樂路
電話(二)一八五〇番

興安大路石橋ビル角店
ナカニシ果實店
電話(2)一三八五番
本店新京東一條通一八

崇智胡同一〇三
正光社
磯村藤太郎
電話(二)三八八四番

食料品
雜貨
百丸洋行
興安大路三三一
電話(二)一三〇五番

長崎カステーラ
滿洲本店
森文明堂
興安大路四一四
電話(二)一八六七番

產婆
花岡
崇智胡同一〇八

產婆
中野まさ子
興安大路四一四
電話(二)一四〇四番

中野醫院
興安大路四一八
電話(二)一七〇一番

齒科
萩原醫院
北安路六一二
電話(二)二一三七番

齒科
團丸
新發屯豐樂路

齒科
富田醫院
興安大路六二六
電話(二)一五五〇番

齒科
村屋醫院
興安大路第一盛滿ビル
電話(二)一一六五番

暖房、冷房、換氣
水道、防水、衛生
設計監督
工事請負
岡田睦日
興安胡同一〇三
電話(二)一九五七番

建築材料
販賣運搬
大成組
興安大路五〇六
電話(二)一三六二番

興安タクシー主
若松英藏
興安大路一六
電話(二)三〇四八番
(二)二五八〇番

產科
婦人科
鈴木病院
清和街七〇二
電話(二)一八八七番

內科
小兒科一般
中央醫院
興安大路一七
電話(二)一三八九番

藥、化粧品
處方調劑
あじあ藥局
興安大路五三二
電話(二)一四四一番

藥、化粧品
處方調劑
第一藥局
興安大路四〇七
電話(二)一二九三番
(二)一七三二番

割烹
三咲屋
豐樂路七〇六
電話(二)二三三二番

割烹
滋賀の家
興安大路三一四
電話(二)一四九五番

土木建築業
碇山組
新京支店
興安胡同一〇三
電話(二)
一六〇四番
三三五三番
一五三五番
一八九二番
二一〇九番

土木建築業
萩澤組出張所
興安大路五〇四
電話(二)一六三三番

舞踏場
モンテカルロ
豐樂路電話(2)二一八一七

義昌無線電氣株式會社
主任
宮崎太郎
興安大路二一〇
電話(二)一五一五番

三浦正商店
豐樂路
電話(二)一四二五番
(二)一六四四番
大同自治會館食堂
電話(二)二五四五番
交通部食堂
電話(二)九一七・一一五番
都屋食堂
電話(二)一四二四番

滿洲特產中央會
理事長　高橋康順
常務理事　川合正勝
外一同

國道局
局長　直木倫太郎
副局長　孔世培
總務處長　大迫幸男
第一技術處長　坂田昌亮
第二技術處長　本間德雄
新京建設處長　原口忠次郎
外一同

住友電線製造所
新京駐在員
山口勝太郎
大同大街康德會館
一一四號室

日本電氣株式會社
大連支店
新京駐在事務所
大同大街康德會館

滿洲國官吏消費組合本部

新京崇智胡同
電話(2)二九六三・一九四三・一五四一・一六八一・一六八四・一六七八番

ラヂオ

けふの番組

（M・T・C・Y 新京放送局）一日（水曜）

四方拜

朝

六、〇〇 吹奏樂（東京）陸軍戸山學校軍樂隊 初春の前奏と行進曲 指揮樂長 岡田國一 「日出づる國」山田耕作作曲

奉祝唱歌 女子放送合唱團
一、年の始
二、君が代

六、三〇 御製謹話（一）（東京）神武天皇御製 海軍大將 加藤寛治

七、三〇 氣象通報（大連）

七、五五 詩吟（東京・名古屋・大阪・熊本より）
（東京）一、國體頌（吉田礁樓作）雨宮薫水
二、日東の詩（寺坂彌三郎作）
（名古屋）一、新春偶成（梁川星巖作）山田濤
二、富岳（富鳩巣作）
（大阪）一、元日（杉聽雨作）磯部賀堂
二、寶士山（石川丈山作）
（熊本）後光明天皇御製 福村利春

八、三〇 「四方拜」年の始 新京西廣場小學校兒童
君が代 新京公學校兒童
滿洲國國歌
新年の辭 滿洲電信電話株式會社 總裁 山内靜夫 滿語通譯 内藤亥三郎

九、二〇 謠曲（東京）
一、勅題 海上雲遠 野々村戒三謹詞 觀世左近
二、白樂天 觀世左近謹曲

一〇、〇〇 尺八（獨奏と合奏）
上田流 一、本曲 百千鳥 森本壽童
都山流 二、本曲 春風

一〇、五九 時報（東京）

一一、〇〇 ニュース（東京）

一一、三〇 管絃樂（東京）（懸賞募集當選作曲發表）
（一）祝祭曲序曲（飯田信夫作曲）
（二）二つの讚歌の前奏曲（早坂文雄作曲）
新交響樂團 指揮 山田耕作

晝

〇、一〇 箏曲（東京）
翁三番叟 箏 越野榮松 同 菅原絛齡 三絃 高橋榮清

〇、四〇 掛合義太夫（大阪）
一、相生松 ―文樂座―
二、花競四季壽
浄瑠璃 竹本相生太夫、豐竹つばめ太夫、竹本小春太夫、竹本源路太夫
三味線 鶴澤友次郎、鶴澤仙糸、野澤勝平、鶴澤友造

一、二〇 萬歳（名古屋）
一、御殿萬歳
二、三曲萬歳「鬼子母神」
北川幸太郎、北川正男、早川助太郎、滿平、松庄次郎、淺井廣次、北川貞三

一、四五 惠方詣（東京）（川崎大師と穴守稻荷）
七福神 柳家金語樓 飯田蝶子

二、三〇 長唄

三、〇〇 國際放送

三、四〇 時刻及び内容

三、四五 國内放送（東京より）（アメリカより）

夜

四、一五 國内放送（東京より）―米國に於ける除夜街頭風景―

五、〇〇 子供の時間（東京より）偉人物語「出世太閤」

五、二〇 コドモの新聞（東京）

五、二五 講演（東京）年頭所感 内閣總理大臣 岡田啓介 ―首相官邸より中繼―

六、〇〇 ニュース（東京）氣象通報 番組豫告

六、三〇 長唄（東京）引續き
新曲「浦島」坪内逍遙作、松永和風、松永鐵之祐、松永和十郎
三味線 杵屋勝太郎、杵屋勝吉治、芳村孝次郎
笛 梅屋竹次
小鼓 梅屋勘兵衛、梅屋勝藏、梅屋勝嗣
大鼓 梅屋正兵衛、梅屋金太郎

六、五五 講談（東京）大當利大福帳 大島伯鶴

七、三〇 混聲合唱（大阪）―桃谷演奏所より中繼― 大阪放送合唱團
一、皇國精神にかへれ 二、昭和聖代、三、日章旗、四、東天紅、五、昭和の黎明

七、五〇 舞臺劇（東京）安宅の關

八、三〇 時報（東京）引續き 氣象通報、番組豫告（滿語）

八、四五 講演 年頭之詞 國務總理大臣 張景惠

九、〇〇 講演 迎康德三年 民政部大臣 呂榮寰

九、一五 舊劇 協和國劇社 票友 龍遊喜鳳

一〇、〇〇 北滿の時間（露語）（哈爾濱）

二日プロ

▽前六、三〇 御製謹話（二）（東京）金子元臣▽七、一〇 氣象通報（大連）▽八、三〇 子供の時間（東京）▽九、〇〇 講演新春の辭（全日滿中繼）南關東軍司令官▽九、二〇 三曲（新京）▽一〇、五九 時報（東京）▽一一、〇〇 ニュース（東京）▽一一、一〇 三曲（新京）▽一一、三〇 ピアノ獨奏（東京）甲斐美和子▽一、三五 新日本音樂（大阪）▽後〇、四〇 大薩摩鞍馬山（東京）小唄（東京）▽二、〇〇 琵琶（新京）▽五、〇〇 子供の時間（東京）▽五、二〇 コドモの新聞（東京）▽六、〇〇 ニュース（東京）▽六、三〇 立體漫談（東京）▽六、五〇 落語（東京）▽七、一〇 漫才（大阪）▽七、三〇 落語（東京）▽八、一〇 二人漫談（大阪）▽八、二九 時報（東京）引續き氣象通報、番組豫告（滿語）▽八、四五 講演（滿語）張外交部大臣▽九、〇〇 講演（滿語）于軍政部大臣▽九、一五 舊劇▽一〇、〇〇 北滿の時間（露語）（哈爾濱）

二 木曜 癸未 先勝 危 非宿　一月二日 舊十二月八日

●一白の人 本分を守り健康を念じ安泰に過すべく祈れ 辰と丙と庚が吉
●二黒の人 足並を揃へ圓滿に業務を勵まるれば至極吉 甲と壬と丑が吉
●三碧の人 輕進短慮を愼しむが年中の平安を保つ指計 乙と辰と辛が吉
●四緑の人 心靜かに空想に馳せず順路を辿らば咎なし 巽と庚と辛が吉
●五黄の人 苦を忘れ心の悶えを解き終日を愉快に過せ 卯と丙と癸が吉
●六白の人 氣を樂に大船に乘りたる心持にて進めば吉 辰と丁と壬が吉
●七赤の人 漸次に繁昌を來たさんとする目萬の計畫吉 丙と癸と丑が吉
●八白の人 業務繁榮一家和氣に滿ち屠蘇の醉も増さん 乙と丁と壬が吉
●九紫の人 一切の勞苦は新春に際し消滅して吉に向ふ 庚と辛と亥が吉

三 金曜 甲申 友引 成 鬼宿　一月三日 舊十二月九日

●一白の人 萬事進んで幸運を招き入るゝの目出度き日 甲と乙と丙が吉
●二黒の人 大小に係はらず物事の手違を生ぜぬ用心吉 丁と辛と壬が吉
●三碧の人 思案を捨てゝ後日に讓り屠蘇に欝を晴らせ 甲と乙と丑が吉
●四緑の人 一門益々榮えて共に新春の和やかさに會す 甲と乙と丑が吉
●五黄の人 祝酒も程を過ごすな分限を守るが安全第一 丙と壬と癸が吉
●六白の人 家内の圓滿一家の繁昌を神詣でに託すべし 乙と辰と丑が吉
●七赤の人 氣を晴々と持ち當年の無病息災を神に祈れ 丙と辛と癸が吉
●八白の人 萬事無理をせず無事平穩を期する覺悟が吉 辛と癸と丑が吉
●九紫の人 元旦最良の吉運當年に處する方針を建てよ 庚と辛と亥が吉

四 土曜 乙酉 先負 收 柳宿　一月四日 舊十二月十日

●一白の人 退氣にして何事も兎角損耗の生じやすき日 辰と辛と丑が吉
●二黒の人 運氣佳ならず常業を大切に守るが安全の日 辛と壬と丑が吉
●三碧の人 引込み思案せず敏捷に活動すれば効果あり 甲と辰と丁が吉
●四緑の人 表面は運氣良好の樣なれど迷多く失敗あり 辰と巽と丙が吉
●五黄の人 諸事長者に隨ひ忠實なれば障なく進捗せん 甲と卯と壬が吉
●六白の人 忠直を表看板として精勵すれば實效を見る 乙と辛と丑が吉
●七赤の人 投機心を起さずこれ迄の業を確く守るが吉 丙と丁と辛が吉
●八白の人 輕進する時は意外の失敗に出逢ふことあり 乙と壬と癸が吉
●九紫の人 奮闘努力する時は大抵の難事も通達すべし 丙と丁と亥が吉

愛よ戰ひとれ

（百十六）

福田正夫 作　[illegible]久 畫

明暗（九）

「なんだい？」
俊一は勝美の顔にあるものが、すぐつよく變つたのを見た。
「だから、どんなことでも！」
「私ね！」
彼女は赧くなつた。
「兄さんにお詫するの」
彼女としては、その負け嫌ひな性格から、この言葉は今までとても出せるものではなかつたのである。
「なあんだ」
俊一がいつた。
「僕は、なにか小言かと思つたのに」
「まあ！」
彼女は呟いた。
「兄さんは、私が……兄さんに感謝してゐないと思つてゐるの」
「お前は昔からさうじやないか」
「でも變つたのよ」
「それは認める、……たしかに」
「その變つたのが、兄さんのお蔭だから、お詫するの。……昔の勝美はもうゐないわつて、いふ」
「僕のお蔭じやあない」
俊一は、はつきりいつた。
「お前が大樹君に、火の中から助け出された時が、からなる機縁だつたのだ」
「でも、それをかうして……明るく結びつけてくれたのは、兄さんよ！」
「さうかなあ」
「それで……ちよつぴり怨むわ」
「なんだい？」
「飛雄さんが貰つた懸賞金は、あなたが出したんですつてね」
「おやツ、どうして知つた」
「[illegible]は狂氣だ。——俊一は[illegible]にいれられたとなると、少しは[illegible]のあとが顯つてゐたが、段々平靜の快活をとり返した。
「いへよ、犯人を……」
「太田よ」
「あれツ、彼奴が！」
「立ち聞きしたんですつて。……感謝しなくちやあいけません。それがあなた方をむすびつける役に立つたからなんていふの」
「その通りです」
飛雄がいつたのである。
「結果から見れば、これまでの凡てが、あなたの好意から來たものです。それに……、勝美さん、兄さんに申上げて下さい」
「實はね、……今朝、父さんと母さんが來たのよ」
「あツ、さうかあ」
俊一は目をみはつた。

「よく、よく、親父が來てくれたなあ！」
が、勝美は涙ぐんでゐたのである。わくわくと唇をふるはして息をつくと、彼女はなにもいへないといつたやうに、顔を掩いて飛雄をみつめた。
飛雄に、いつてくれといふのである。
「……」
飛雄がうなづいた。
「お父さんはおつしやるんです。……外交官の試驗がとほつたら、その、結婚させていゝつてことなのです」
「母さんが、すゝめてくれたのね」
「それも……あなたが、夫人をああして慰めてあげたからです」
「母さん、兄さんに感謝してゐてよ」
「僕はやります。……これから。嚴しく出發します」
俊一はうなづいたが、なぜか淋しい口をしたのである。

（四平街之部）

四平街地方事務所 所長 下田一夫

四平街地方委員 岸久藏

四平街地方委員 金亨龍

四平街 小松屋旅館

賀正

四平街地方委員 添田澤三

鹽谷要藏

銘酒白梅釀造元 大和屋 武藤五郎 四平街紅梅町 電五七八

火曜會

四平街祝町 東信洋行窯業部 木藤品次郎 電話 二五三番 五九一番

四平街南三條通九 有價證券現物賣買 公債擔保金融 住友生命保險代理店 北滿證券 原田親一 電長三六六三番

四平街南二條通 滿洲電業 鐵路總局指定洋服店 森岡洋行 電四八三番

新京之部

四平街驛前 長壽庵 松尾甚太郎 電五九番

四平街專賣署員

新京 菓子商組合一同

ダンスホール 新京會館

株式會社 三中井新京支店 新京日本橋通 電話（三）二四一二番

土木建築請負 森本組 新京支店 錦町四ノ三 支店長 清水公鷹 電話 三一三四〇番 二一六三四番 自宅電話 三一五四六七番 出張所 大連、奉天、安東、吉林、四平街、哈爾濱、チ、ハル、敦化

和洋百貨 化粧品 小間物 鞄 靴 毛皮 銭入類 合資會社 山田洋行 新京日本橋通 電話 三一四〇九二番

豐樂劇場

最後の駐屯兵

PCL

ベンガルの槍騎兵（以上の）動きと感激と

スリルとを盛る大衆娯樂映畫の最高水準

パラマウント超特作【日本版】

ゲーリー・クーパー・フランチョット・トーン主演 (?)

マキノ・トーキー時代劇第一回作品

監督 マキノ正博・久保爲義

オールトーキー 澤村國太郎・原駒子主演

天下一品の「鼠小僧」名トリオによつてなる

江戸新鼠小僧

PCL超特作映畫

伊馬鵜平原作

ラヂオの女王

千葉早智子、宇留木浩 丸山定夫、古川緑波 主演

入場料 階下八〇、階上一、二〇

卅一日封切

終演お歸りのバス無料サービス致します

二階の喫茶部へ 簡單な食事も出來ます

電話（三）一四四五（事務所） 電話（三）一五八五（喫茶部）

四日より封切

PCL

PCL超特作 一九三五年秋季日本映畫コンクール賞獲得

「噂の娘」

成瀬巳喜男監督

千葉早智子、梅園龍子 主演

マキノ特作映畫 パートトーキー

女侠奴の小萬

堅き復讐に燃ゆる赤城(?)異十外傳

原駒子 主演

原作 比佐芳武 監督 廣瀬五郎

入場料 階下八〇、階上一、二〇

勘平の嵐

フォックス超特作映畫

シャーリー・テンプル主演

謹賀新年

皇紀二五九六年

大日本帝國
大使館職員一同

關東局高等官一同

在新京
日本帝國總領事館
總領事 川村博
領事 花輪三次郎
領事 中野高一
外館員一同

新京地方事務所
所長 武田胤雄

瀨下金
蓬萊町一丁目九
電話三-二三九四番

滿洲電信電話株式會社
新京管理局長 園田勉次郎

滿洲計器股份有限公司
新京特別市豐樂路一〇五號一郡會館

三井物產株式會社新京出張所

株式會社福昌公司新京出張所
新京八島通四二
電話 自三-五六七四番 至三-五六八〇番

國都建設局
局長 鄭禹
總務處長 結城清太郎
技術處長 近藤安吉
庶務科長 江崎猛
計畫科長 溝江五月
土地科長 草地一雄
水道科長 重住文男

滿洲國協和會
會長 張景惠
理事長 張燕卿
中央事務局長 呂榮寰

新京組合銀行團

土木建築設計製圖請負
椿組新京出張所
山成皓
新京特別市大經路三四
電話三-一八八八番

明けて目出度く昭和十一年丙子 あなたの星廻りは!?

一元堂主

【一白水星】

十歳、十九、廿八、卅七、四十六、五十五、六十四、七十三歳

天運の多い恵まれた星だが、と角氣忙しく落着かぬ性質なのは其の缺點です。本年は取り分け物事を慎重に、堅意地を出さぬやう、分を知つて現狀を固守し、懐瓦を誇

むやう丹念に利を重ねて行くことです。萬事上長に相談し、獨斷を忌む、移轉起業不可（吉方）西、坤、艮（凶）東、南、北、巽、乾

【二黒土星】

十一歳、廿、二十九、卅八、四十七、五十六、六十五、七十四

進むに利あり、地も景氣のいゝ好運年ですから、何所までも攻勢に出る事です。決斷力に乏しいのがあなたの瑕ですから、強情堅意地

を矯め、疑心を起す悪癖をば封じ思ふ通りに突進すれば途は必ず好運に拓けて行きます。但し西は凶方中の凶方に位してゐますから、何事も此の方位に向つてする事は慎まねばなりません（吉方）東、坤（凶方）西、南、北、巽、乾、艮

【三碧木星】

十二歳、廿一、卅、卅九、四十八、五十七、六十六、七十五歳

先づ第一に家庭圓満を心懸け、ひたぶる勤勉すれば運は開けて來ます。尤も本年はドチラかと云へば運勢もいゝ方ではあるのですが未だ果物が熟し切らぬと云つた象ですから、すべてに逡巡せず手を染めて差支へないのです。あなたの稟ち充ちたる勇氣と、聡明な天性とを發揮し、只自儘な短氣心を慎まれたい（吉方）巽、艮（凶方）東、四、南、北、坤、乾

【四緑木星】

十三歳、廿二、卅一、四十、四十九、五十八、六十七、七十六

恰も皎々たる満月の冴やけさを時に叢雲が去来して蔽ひ邪ぐと云つた風の年廻り、福運は巡つて來てゐるのだが、生憎星が鬼門になつてゐるから、大に心し、深く神佛を信じ、萬事賢者の意見を參酌して行ふのが宜しい。元來取越し苦勞の氣迷ひの性質ですが、終始一貫、十年一日の如く働く素質がありますから、それを活かすやう心

懸けて下さい（吉方）西、巽（凶方）東、南、北、坤、艮、乾

【五黄土星】

十四歳、廿三、卅二、四十一、五十、五十九、六十八、七十七

絶壁を攀ぢ、今一ト息で頂上を極め征服し得る好望に面してゐるがさて少つとも手許足許に油斷のならぬ年廻りです。我儘と、強情短氣を慎み、八方に注意して居れば愈よ開運、頂上に御來迎が拝せるでせう。此の星の人は、初年に勞苦多く、中年には大に幸運となり中年後には衰運に向ふ兆がありま

す（吉方）東、巽、坤、乾（凶方）西、南、北、艮

【六白金星】

十五歳、廿四、卅三、四十二、五十一、六十、六十九、七十八

明暗二重の交錯、盛運に面しながら、萬事が行き詰まり勝ちなのは星が暗劍に引掛つてゐるからですしかし根が好運なんですから謙す（?）だけ人事を盡して運を天に任して置けば、自然良好に向ひます。尤もその運ですか、左様、乾の方から福運が轉がり込んだり、乾の方に後援者が現れたりなど、その一例ですよ。さうです建築土木には手

を着けては不可ませんよ（吉）東、坤、乾（凶）西、南、北、巽、艮

【七赤金星】

十六歳、廿五、卅四、四十三、五十二、六十一、七十、七十九

日下開山、向ふ處敵無しの概を示す盛運年、萬事思ふが儘に進むべき年廻りでゐ乍ら、その實、今一ト息の懸があるのは、此の星の除

が本年は裏鬼門に座つてゐるからです。化粧立、仕切り直し數回、充分慎重の態度で取り組まぬと、思はぬ砂を攫む事になるでせう。本年の心懸けとしては、外よりも先づ内を治め、家庭を和やかに固めてから、外に向ふべきです（吉方）東、乾（凶方）西、南、北、巽、坤、艮

【八白土星】

十七歳、廿六、卅五、四十四、五十三、六十二、七十一、八十

短氣で強情な癖に、社交上は不活潑、自己の意見すらも出し得ないといふ缺點を深く心し矯めるやう人に厚く心懸け、神信心をして本年は靜かに待機狀態でゐると、思ひがけぬ吉報を得るでせう。起業旅行その他、吉月方位を見て行へば宜しい。運は好轉に向つてゐますから、焦慮らないでぢつくりと所謂時節を待つ事です（吉）巽、坤、乾（凶）東、西、南、北、艮

【九紫火星】

十八、廿七、卅六、四十五、五十四、六十三、七十二、八十一

先づ吉方は艮と思つて下さい、何分本年は凶運ですから、總てが面白くないでせうが、左りとて其の爲め短氣を起しては愈よ取り返しが付かなくなります。草木が厳寒の忍苦を經て、花咲く春への工作に營々としていそしんでゐるつもりで出精する事です、目先が早くて聡明に、謙遜で穏かだといふあなた性來の美質を發揮するやう努むべきです（吉方）東、西、坤、艮（凶方）南、北、巽、乾

クラシカル小噺集

橘家圓蔵

鬼の見世物

昔は盛り場の見世物などに酷いものがあつて『サアく六尺の大鼬』と喚いてゐるので入つて見ると、六尺の板に赤血をつけたのが置いてあるイタチといふ洒落です、當時の見物は

『旨い趣向だ、粋だね』

と褒めてゐたもの

ところが或る時『鬼の見世物』といふのを出した男が『鹿粉細工や飴細工と違ふ本當の鬼だ』と怒鳴つてゐるので、通り掛りの武士が『コレ、中へ入つて若し拵えものであつたら、其の方の首を取るぞ』と念を押すと『エヘヽヽヽ、御入りになるのは御免下さいまし』といふ『なぜだ』『あなたの御紋が柊で鬼が逃げますから』『成る程、旨い事を申すわい、では供の者を見せに入れる』『それも御免を蒙ります、お腰の刀が赤鰯ですから。』

富士見西行

旅に出るのを符牒で『西行』に出ると云ひますが、西行法師は年中旅に許り出てゐるので斯う云つたものです

『やい、卑怯者メ、タツタ一人に寄つてたかつて酷ひ目を見せやアがる、殺せく』

或る大工が西行に出て、稼ぐ中に仲間のものと言葉の行き違ひから喧嘩になり袋叩きに遭はされ大の字になつて

『ざア、突くとも切るとも勝手にしろ、西行だと思ひ馬鹿にさらすな』

と怒鳴ると、撲つた連中、顔を見合せ

『こりや強い筈だ、撲つてもこたへぬ譯だ、西行だといふから富士見（不死身）だ』

有難き冷汗

昔、以中と云へば幇間、さるお大名のお邸へ御機嫌伺ひに上ると

『好き所へ參つた、御親類方お揃ひ、御酒宴の最中である、こちらへ』

と案内され、晴れがましき廣間の御酒宴の席へ出ると、殿様より

『何か一ッ洒落を申せ。』

と所望され

『ハ、ッ』

と突嗟の事とて魔胡付き乍ら

『まことに有難き冷汗に存じ奉ります。』

吝ン坊屋

ある酒好きの男、酒を買つては來たもの、根が吝い質とて、一時に飲んでは不經濟だと、鼬利へ箸をつき込み、一箸づゝチビくなめて居りしが、その仲他より歸り來り

『オヤ、いゝものがある』

とイキナリ之も箸を突ッ込み、二度ばかりつゞけさまになめると、親爺さん目をむき出し

『そんな大酒を呑むでないぞ』

懲しく

『村へ歸つた序に、お前さんの家へ寄つて來た、內儀さんも達者だ、何か言傳はないかと云つたが、これを届けて呉れとの事だつたので持つて來た。』

と同じ出稼ぎに來て居る友達に紙包みを出され

『それはく厄介かけて濟まぬ』

『內儀さんから何を送つて來た開けて見やれ。』

『ウフ……仕様のない奴だ、いゝ年をしながら、娘の子のやうな事をしやがつて』

『どうしたのぢや。』

『ナーニ、うちの女房は、字が書けぬものだから、これを寄越した。』

『オヤ、石ころが三ッ、こりや何のまじないだ。』

『エヘヽヽヽ、戀し（小石）くの洒落で……。』

火の用心

江戸見物に行つた庄屋の若旦那から、土産に蠟燭を貰ひ多分味噌汁へ入れて食べるものだらうと、汁にして食べたれど、一向不味いので變な顔せる所へ若旦那が來合せ、『冗講だやない、それは夜、灯を點すものだ。』と敎へたので、一同俄かに心配し『腹を冷やすべえ』といづれも池へ飛び込み首だけ出せる所へ、六部が通りかゝり、火打ち道具を取り出し煙草を喫いて、火玉を掌へ吹いて池の中へポイと抛り込んだ爲め、水の中の村人驚き、火の用心く。

謹賀新年

公主嶺地方委員（順序不同）
大口靖太
突永一枝
丹宗安一
安樂俊夫
小松光治
岡野薫
高取惠一
徐會一
王嘉祿
冉慶田

懷德縣公署
縣長 薛玉衡
外職員一同

公主嶺活版所
満洲ラジオ普及株式會社
野村生命保險株式會社代理店
川原利喜
電話二二五番

満洲公主嶺櫻町
池田武一商店
電話二四二番

石炭商組合
合利洋行 電話五九番
新華公司 電話一二六番
松昌公司 電話七七番

國際運輸株式會社
公主嶺營業所
主任 山本正夫

金融組合

薬業八日會

特産商組合

公主嶺附属地商務會
總理 荆瑞一
協理 徐會一立
電話一七八番

大同電氣株式會社
公主嶺支店

青木太郎

食料品雑貨
榮商店
電話一七三番

淺井彌吉

食料品雑貨
鈴木商店
電話八四番

化粧品小間物
小池商店
電話三一七番

陸軍満鐵御用達
御菓子 一富士
電話二七番

満洲益樂店茶莊
經理 程曼伯
電話二二三番

世合窯業部
經理 李荷萱

呢絨綢緞店
同泰號
電話五五番

油酒雑貨店
義和長
電話三〇七番

御料理
やまと
電話二六番

御料理
若吉
電話六六番

丹宗呉服店 電話三九一番

バリー調髪院

御料理 秀乃家 電話一四四番

公主嶺飲食店組合員一同

謹賀新年

地方委員
荒木仲之
新京三笠町三丁目十四
電話三―二二八〇番

地方委員
田中卓二

新京商工會議所
會頭 石崎廣次郎
副會頭 四戸友太郎
同 寺內清次
理事 尾崎正義

廣本洋行主
吉田廣盛

羽衣莊
武居重雄

宮本信七

品川洋行主
高堂武則

三友社印刷所
永樂町三ノ二六
電話三―三四三八番

新京木材工作所
新京永樂町四丁目
電三―三〇七〇番

貴金屬 時計 寶石 眼鏡
岩間商會
新京中央通
電三―二五五五 三〇四七番

ラヂオと電氣器具
東京無線新京支店
新京祝町二丁目廿六
電話(三)五三八九番 四九二〇番

龜川齒科醫院
龜川一郎
新京祝町二丁目太子堂東角

ペンキ塗請負 諸看板製作 ネオンサイン製作施工設計
龜岡看板店
新京ダイヤ街
電三―二九四五番

戶板ビル
戶板志達
梅ヶ枝町一丁目十四
電話三―六七〇九番

勝又洋服店
新京日本橋通六二
電話三―三四二五番

松田洋服店
店主 松田益太郎

映畫常設館
新京キネマ
電話三―二〇六八番

吉野屋樂器店
祝町二丁目キネマ隣
電話三―三〇六八番

向陽ホテル
大和通七十三番地
代表電三―三八八二番

新京綿糸商組合

大滿鑛業測量社
福山正雄
豐樂劇場前
電話二―二〇五一番

建築材料
西脇洋行
電話三―二二四〇番

金物各種
新盛洋行
電話二―三三〇六番

新宅啓三

横田洋服店主
横田豐穗

北澤製版所

女神の樂園
カフヱー 大陸
新京銀座裏
電三―六二二九番

カフヱー マルセーユ
三笠町三丁目四番地
電話三―五九二九番

明けましてお芽出度う御座います
本年も相變らず…………
北條たま子
都美子

バー ゆりかご
祝町二丁目太子堂前
電話三―三九三〇番

由良之助
三笠町二丁目十三
電三―三四八六番

御料理
壽きやき
新京日本橋通り
電三―五八八五番

キャピタル
ダンスホール
上野由人
三笠町三丁目十七
電話三―三八〇六番

亞細亞會館
新京東二條通
電話三―五七一五番

食道樂
青葉
新京三笠町二丁目六
電話三―二九四二番

名物長崎しつぽく
會席御料理
曾我廼家ピーラ
代表者 野田ミヲ
外女中一同
調理師 鳥井俠夫
外一同
新京三笠町三丁目
電話三―六一八四番

新京旅館組合

新京三業組合
新京檢番
電話三―四八四〇番

扇芳亭
一つ家
三樂園
すみれ
桃園
桐壺
天昇

新春の裝ひ新たに 國都銀幕の賑ひ

和洋大作品陸續として登場

華麗！興行火戰の展開

迎年の裝ひ新たに國都初春の歡びは先づ銀幕から訪れる……、新京映畫界本年度の幕開きは、舊臘矢繼早やに開館した新市街の王座豐樂劇場と帝都キネマの二つを加へて、一躍四館の堂々たる顏ぶれを揃へて、白熱的興行戰の展開を豫想せしめつゝ極めて華麗なる粉飾をもつて行はれる、目出度き改年と時を同じくして、活況充實への一轉機を劃したこの土地の映畫界は各館とも夫々の系統を擁して最大限度の力量をこゝに發揮してみせやうとする、先づオール松竹の傳統と豪華な製作陣容を誇る長春座はその有利な地盤を利して「せめて今宵は」「繰手繰り音頭後篇」「人生のお荷物」「木曾の紅笠」「ぎつちよの秋太郎」「海内無双」「彼女は嫌と云ひました」等の松竹强力番組に「運ちやん武勇傳」「國境の町」「虚榮の市」等の洋畫大作を加へて出づれば、大に對抗して新京キネマは日活大作「大菩薩峠」を筆頭に「軍國子守唄」「怪頭白頭巾」「敵討三都綿繪」「愛の二重唱」「封印牛次郎刀」「雛妓と坊ちやん」「天狗の又八」「戀女房」等更生躍進の途にある日活强力プロに「戰ふ巨象」「ウイリアムテル」「春の調べ」「ベルダン」等のこれまた劣らぬ洋畫プロを掲げて打つて出る、一方新市街の雄豐樂劇場は新裝と豪莊の大建築を擁して「最後の駐屯兵」「歡呼の嵐」「わたしは別よ」「ルコング」「カレッヂリズム」「花咲く頃」「乙女の湖」「ラヂオの女王」「人生初年兵」「噂の娘」等の洋畫大作を中心に「噂の娘」等のP・C・L新作品を配して傲然と王座の威容を誇示すれば、帝都キネマまたこれに挑戰して、「三聯花」の全滿封切を敢行すると共に「黄昏地藏」「新納鶴千代」「三つの愛」「文武太平記」「曉の麗人」「花嫁地獄」等潑溂濟新の製作スタッフを誇る新興の大作品を揃へ、これに「メリイ・ウイドウ」「男性NO・1」「タムタム姬」「玩具の國」等超弩級の洋畫を羅列して强烈なる威力をもつて他館に肉迫する、かくて正月第一週、二週、三週の興行街は文字通り邦洋ともに大作品が砲列を敷いてぶつ飛ばされるのであるが、對抗四館の持つ全力量を發揮して行はれる激烈なる興行火戰は更に引續いて大物の陸續として登場するの景況を誘發し、新京映畫界は空前の活況を呈すると共に只管充實發展への拍車を加へることであらう、そして本年度のこの道の動向こそ最も興味ある問題としてファンの關心を大きく呼び起すものがあるであらう

寫眞……（右上）日活「大菩薩峠」大河内傳次郎の机龍之助と入江たか子のお濱、（左上）蒲田「人生のお荷物」における齋藤達雄と田中絹代、五所平之助監督作品、（下）新興「三聯花」のスナップ、主演の山路ふみ子、御影公子、霧立のぼる、（カット）は蒲田スター高杉早苗と忍節子

全滿第一封切！

新興「三聯花」

—帝キネ正月第一週上映—

原作　吉屋信子
脚色　陶山密
監督　田中重雄
撮影　二宮義曉

—キャスト—
矢野みどり・山路ふみ子
森千賀子・霧立のぼる
松本美代子・御影公子
矢野誠一・立松晃
小池・菅井一郎
宮川一郎・清水將夫
おみね・田中筆子
房江・歌川八重子
宮川博士・大井正夫

◇……◇

誠一は再婚した母を憤つて單身東京に出、宮川博士の下で勉學して來たのであつた、誠一の妹みどりは、矢張りこの大都會で東都ダンスホールのダンサーとして働いてゐた、見えざる運命の糸は、みどりと千賀子を都會の眞中で自働電話での小さい出來事を機緣として結び合はせる、みどりのアパートで朋輩の美代子と千賀子と三人の女性は、泌々女性の不幸に就いて語り合ふ時に、宮川博士の一人息子一郎は戀してゐる美代子につきまとふ或る男の爲に、悲觀と焦燥に追はれつゞけてゐる、或る男とは小池であつた……。

森博士の美しい未亡人房江は、女性の悲しい過失から、遊蕩紳士小池と一つの秘密を持つた、小池はその秘密を利用して房江の一人娘千賀子にその魔手を延ばさうとする。亡き森博士の親友だつた宮川博士は自分の亡友の子、若き

“最後の駐屯兵”

「ベンガル」の姉妹篇

パラマウント映畫「盲目の飛行士」のケーリイ・グラントと「情熱なき犯罪」のクロード・レインズ、これにガートルド・マイケルを配した「ベンガル」以上の大作としてチャールス・バートンが監督した作品である、土民軍に擊滅されて最後に生殘つた英國アフリカ駐屯軍の二將校が危機迫る大部落民を救ふ爲に、叢林の獸牙と土民軍の狹擊と鬪ひつゝ死鬪を續ける、しかもこの二人の間には一人の美貌の女性を中心にしてお互に命を狙ふ仇敵の憎しみが介在してゐるのである、熱風白塵をまく茫漠たる灼熱の沙漠に繰り展げられる愛憎の血史、蓋しパラマウント新春の巨彈として注目を惹く快篇であらうスチールはその一場面

正月第一週豐樂劇場封切

—日活特作トーキー—

大菩薩峠

第一篇　甲源一刀流の卷　鈴鹿山の卷

•正月第三週•

新京キネマ上映

原作　中里介山
撮影監督　稻垣浩
應援　山中貞雄
　　　荒井良平
　　　三村伸太郎
脚色　武田寅男
　　　稻垣浩
撮影技師　谷本精史
　　　松村禎三
　　　竹村康和
音樂　西梧郎
武道考證　高野弘正
主演　大河内傳次郎
　　　入江たか子
　　　澤田清
　　　岡譲二

先づ清澄山から出て來た蝉信といふ盲法師と茂太郎といふ不思議な少年が、大菩薩嶺の麓で菩薩道の問答をするプローグから始まります……

◇××××××◇

正月の映畫街

◇××××××◇

△長春座—四日まで、田中絹代、佐分利信の「せめて今宵を」阪東好太郎、月形龍之助、飯塚敏子の「蹴手繰り音頭」ジエームス・キャグニー、エデイ・ケネデイの「運ちやん武勇傳」

△新京キネマ—三日まで、黒川彌太郎、花井蘭子の「敵討三都錦繪」瀧口新太郎、花柳小菊の「雛妓と坊ちやん」コンラット・ファイトの「ウイリアム・テル」

△帝都キネマ—三日まで、山路ふみ子、霧立のぼる、御影公子の「三聯花」片岡千惠藏の「黄昏地藏」スターン・ローレイ、オリヴアー・ハーデイの「玩具の國」

△豐樂劇場—三日まで、梅園龍子、千葉早智子の「噂の娘」ケリー・グラント、ガートルド・マイケル、クロード・レインズの「最後の駐屯兵」バスター・キートンの「キートンの爆彈成金」

××××蒲田オール・トーキー××××

人生のお荷物

……正月第二週……

長春座封切

原作脚色　伏見晁
監督　五所平之助
撮影　小原讓治

•配役•
父、福島省造…齋藤達雄
母、たま子…吉川滿子
息子、寛一…葉山正雄
長女、高子…坪内美子
夫ドクトル…大山健二
小見山哲雄
次女、逸子…田中絹代
夫畫家栗田俊吉…小林十九二
三女、町子…水島光代

福島省造氏並に夫人たま子この老夫妻の間には三女一男があつた長女高子はドクトル小見山に嫁ぎ、次女逸子は畫家栗田に嫁ぎ三女町子は橋本中尉と結婚が決つてゐた、長男寛一はまだ小學一年位であつた、高子はちよいちよい夫婦けんかをしては實家に歸つてゐたがでも朗らかだつた、逸子は自ら夫のモデルとなつて餘所目には夫婦圓滿を見せてゐた、時々母の財布から小遣を貰ふのにも茶目氣がぬけてゐなかつた。

福島氏は町子の結婚式を終へ、漸く重荷をおろしてホッとしたが考へてみると晩年に生れた寛一がゐた、これは寧ろ憂鬱な存在だつた、寛一が可愛いとか可愛くないとかで老夫妻はけんかしてしまつた、たま子は寛一を連れて逸子の家に寄寓した、仲人の阿部氏がこのけんか仲裁のため逸子の家に出かけた日、寛一は永い間の習慣で、うつかり父の方の家に歸つてしまつた

地方委員　五味武太郎

地方委員　山下藤藏

新京輸入組合理事　久末吉次

天野恒太郎

新京市場株式會社專務　砂原滋二

頭道溝　商務總會

加藤捨次郎　新京祝町一丁目

遠藤才次　新京中央通三六

新京興信公所　清水末一

特產寺中商店　寺中楠治

蓄音器レコード　日信洋行　東一條通電(3)三一六三番

さかもこ商店　中央通一七　電話(3)二九四一番

丸山組　丸山直助

中谷時計店　新京支店　電話(3)三八五四　六七五九番

タケヤ靴店　新京三笠町三丁目　電話(3)五二三六番

安岡商店　新京三笠町三丁目十三　電話(3)三三三六番

酒井商店　新京銀社通　電話(3)二四六四番

新京金融組合

村岡呉服店　新京吉野町三丁目　電話(3)二一二四番

木村洋行新京支店　新京中央通三六　電話(3)三三四六番

大阪屋號書店　新京中央通　電話(3)二三二一番

太陽ホテル　新京永樂町一丁目九　電話(3)四九七九番

大タク新京支店　羽衣町一丁目二二　電話(3)三〇〇三番

濱木印刷所　新京東二條通　電話(3)二二四八番

ダイヤ倶樂部　共榮倶樂部　峰武夫　新京日本橋通二九　電話(3)六七六四番

商用圖案廣告用品　奴マッチ社　吉野町一丁目五　電話(3)三五五六番

モデルン　日本橋通十四　電話(3)三九〇四番

新京膠構內賣店　久保田ケサヱ

金泰洋行　新京日本橋通

公信株式現物問屋　畑園太商店　老松町十二番地　電話園二一六三　六四九五番

印刷・出版　雙發洋行　新京日本橋通　電話(3)三八二三　二八三四番

ナショナル軒理髮館　同ヤマトホテル理髮部　館主　土井明治郎　外從事員一同　日本橋通　電(3)二六三一番

森自轉車商會　新京大和通六五　電話(3)六六二八番

新京犬猫病院　院長　田島義次

謹賀新年

南滿洲鐵道株式會社
總裁 松岡洋右
副總裁 大村卓一
理事 河本大作
同 山崎元幹
同 郡山智
同 佐々木謙一郎
同 宇佐美寛爾
同 佐藤應次郎
同 石本憲治
總務部 部長 課長 審査役 監査役 秘書役 一同
計畫部 部長 課長 審査役 一同
經理部 部長 課長 一同
鐵道部 部長 課長 一同
地方部 部長 課長 一同
商事部 部長 課長 一同
建設局 局長 次長 課長 一同

國際運輸株式會社

滿洲電業株式會社大連支店

南滿洲瓦斯株式會社

大連汽船株式會社

大連火災海上保險株式會社

南滿洲電氣株式會社

滿洲石油株式會社

滿洲化學工業株式會社

福昌華工株式會社

滿洲電信電話株式會社
大連管理局

三井物產株式會社大連支店

株式會社福昌公司

社團法人滿洲土木建築業協會

滿洲森永製品販賣株式會社

日清製油株式會社

滿洲クロード電氣株式會社大連支店

大阪商船株式會社大連出張所
大連市山縣通五二
電話(二)七六九一番
本社大阪市北區宗是町大ビル

日本ペイント株式會社滿洲工場
奉天西區南三路二六
出張所 大連常盤町二
出張所 哈爾濱外國二道街二八

土木建築請負業
榊谷組
大連市能登町一五
組主 榊谷仙次郎
電話(二)八一六八番

建築請負業
長谷川坂本組
大連市神明町六
電話(二)四五二〇番

滿洲國通信社
大連支社營業部

株式會社大連連鎖街

株式會社大信洋行
大連市監部通四九

印刷一般
東亞印刷株式會社
大連市近江町
社長 山田浩通
電話二一七三六六番 二一六八九九番
支店 東京市京橋區京橋通二

土木建築請負
岡組
大連市東公園町六五
電話 事務室二一三九九二番 技術室二一七三二一番

合資會社大同組
大連市山縣通五一番地
電話二一三三七〇番

月星シトロン サイダー
月星合資會社
大連市西通り四四
電話二一四五七二番

株式會社遼東ホテル
大連市大山通り

小林又七支店印刷部
大連市若狹町三三
電話二一六一六一番

台灣青果株式會社
大連市信濃町一四〇
取締役 池田[illegible]

阿波共同汽船株式會社
大連支店

新高製菓大連工場
大連市青雲台一四
電話二一五八四〇番

白鹿商店
大連市紀伊町一二
電話二一五三四三番

伊藤呉服店
大連市浪速町
電話二一六一〇七番

東來洋行
上住靜太郎
大連市

山葉洋行
大連市信濃町五六
電話二一四一四八番

山下式ペーチカ 製造販賣
山下卯之助商店
大連市監部通一二〇
電話二一一六一六番

冠野隆太郎
富士パルプ製造所大連出張所
竹内榮一商店大連出張所
大連市榮町二番地

辻山洋行新聞部
大連市山縣通六四
電話二一三七四六番

第一工業株式會社出張所
大連市山縣通二二
電話二一三八六四番

新年講談

鼠小僧の女難

(錦無斷轉載)

春風亭柳雨

俊江一狐畫

子の初春に因みまして鼠小僧の一席を申上げます。江戸は長崎町の質商分銅伊勢屋の手代治郎吉は年頃になつてつひ覺へた遊蕩の味が忘れられず、十九の年に主家の金二十五兩を使ひ込み、それが發れて本來なら町奉行へ突き出されて揚屋へ打ち込まれるところを、特に主人の情けで意見の上でお暇といふことになりましたが、持つて生れた性根は改まらず、それから自暴自棄で放蕩無賴に身を持ち崩し、今では小さい所は眼にも入れず、大名旗本御家人等の邸ばかりを狙つて荒し廻るといふ恐ろしい曉のギャングになつ　しまひました。鼠小僧と言ふからは鼠賊位にお思ひかも知れませんが、どうして／＼そんな生優しい代物ではございません。

文化三年師走十日のことでございます、治郎吉は豫て目を付けてゐた兩國藥研堀旗本[illegible]の

邸に忍び入り、お局長屋のお納戸を襲つて、まんまと六十兩といふ大金をせしめました。

『フン、こいつあ久し振りの大漁だ、ドレ、一つ吉原へでも繰込むとしよう』

黑塀からピョイと飛び降りた治郎吉は、ふところの中の金を握りしめ乍ら、獨り北叟笑んでスタスタと歩き出しました。町はもう四つすぎのこと〻てしーんと寢靜まつてゐます。吉原歸りの駕でも來ないかと思つて大通りまでやつてくると、耽のい〻治郎吉、急に耳を欹て〻ピタリと足を止めました

『畜生！　奴は尾けてやがるな』

どうやら先刻から岡っ引に尾けられてゐるらしいのです、さすがの治郎吉もい〻氣持はしません。然し逃げ足には自信のある治郎吉『糞、撒いてやれ！』と許り急に足を早めかけると、いきなりバタ／＼と追縋つて、闇の中から意外にも艶めかしい聲で『治郎さん、さう急がないでお待ちよ』と呼びかけられました。これには治郎吉すつかり面喰つてしまひました。

『な、なんだい、女の癖だが……お前さんは……』

『オホ〻〻、治郎さん、まア、そんなに驚かなくたつてい〻やね、妾はお前さんこそ知らないが、とうからお前さんに會ひたい／＼と思つてゐたものさ、やつと今夜願ひが叶つてこんな嬉しいことはないよ、ほんとにお前さんはほれぼれするやうない〻腕前だね、今もソラそこの邸でタンマリやつたぢやないか』

『叱つ／＼』と治郎吉は冷汗びつしよりで制止したが、相手の女は耳に入れません。

『何だね、治郎さんともあらうものが意氣地のない、まア、折角會つたのだから、お近づきに代地の柳屋へでも行つて一杯よばれませうよ、さア治郎さん』

治郎吉度々怖い目にもあつたがこんなに怖い目にあつたことはない』と言つて今更振切つて逃げることも出來ず、女に引ずられるやうにして澁々やつて來たのが代地の柳屋。こ〻は吉原歸りの客を相手にするので夜つぴて稼業をしてゐます。初めて明るいところで女の顔を見ると治郎吉は驚いた。鳥追姿こそしてゐるが花も羞ぶほどの美人です。

『まア、治郎さん、何をボンヤリしてゐるのさ、さア、妾にもお酌をしておくれ』

『オットトト、こいつはすまなかつた』

『ね、治郎さん、もう妾、お前さんを放しやしないよ、ほんとうにお前さんみたいに頼母しい人はゐりやしないよ』

女は醉ふに從つて益々濃艶になつて來ます。治郎吉はまるで魂の拔けた思ひで散々酒を勸められて遂々醉ひつぶれてしまひました。さてあくる朝、目がさめて見ると、懷中はいつの間にか素拔けの空、女賊人魂お仙にマンマと治郎吉がしてやられたといふ治郎吉一生一代の女難といふ讀切りの一席でございます。

掛合萬歳

毆つて頂戴な

榎本健一

二村定一

『明けましてお目出度う。昨年中は色々有難う。今年も相變らずどうぞ宣しく』

『そうですか』

『健ちゃん、そうですかは恐れ入るね』

『そうですか』

『どうかしてるよ、君は』

『一年毎に老人に近づく傾向があるからね』

『まだ老いぼれるには早過ぎるよ』

『いや、油斷大敵、たゞ見ればなんの苦もなき水鳥の脚に暇なき我が思ひ哉、これが僕の年頭雜詠の一つだよ』

『健ちゃんが歌をよむとは始めてきいたよ』

『相當なもんだらう』

『だが、そんな歌どつかで見たことがあるよ』

『そうだらう、世間にはまがひ物が多いからな』

『所で一九三六年のスポーツ界は』

『コリント・ゲームはすたれたね』

『コリント・ゲームはスポーツぢやないよ。今年のスポーツ界のトピックの一つはオリンピックだね』

『銀座のオリンピックかね』

『ありや洋食屋だよ』

『そう、新宿にもあるよ』

『うるさいね、スポーツの話だよ、オリンピックはどうしたつて日本が勝たねばならないね』

『勝つと何か貰へるのか』

『意地汚いね、この人は。スポーツの目的と云ふものはそんな所にあるんぢやないよ』

『ぢや、何處にあるんだ』

『僕もよく知らない』

『ぢやスポーツの話はそれ位にして、次は一九三六年の天文界はどうだい』

『天文界？』

『お天氣だよ』

『お天氣…まあ一九三五年と大した違ひはないだらう』

『つまんないね。毎年變るといゝんだがね。今年は雨の年とか雪の年とかね』

『いやだよ、そんなの』

『だつて雨の年なら毎日レーンコートを着て出るから都合がいゝぜ』

『今年は鼠の年だが、鼠について珍談はないかね』

『去年鼠捕りに引つかゝつた鼠があんまり澤山なので、鼠鍋にして食べたらうまかつたね』

『げえつ、そんな話は止してくれ。第一衛生に悪いし動物愛護の精神に反するよ』

『冗談いつちやこまるよ。動物愛護の精神では敢て人後に落ちるものぢやないよ。蠅、蚤、虱、蛆何でも人一倍愛してゐるよ』

『變なものばかり愛してるぢやないか』

『僕は何でも愛してゐるどんなつまらない流行歌でも』

『あれ、流行歌に飛火したね最近の最大の流行歌は何だつたかしら』

『どうもあまり大したのがないね。流行歌は一寸昔のものゝ方がいゝ』

『さうかな。さういへば涙の渡り鳥、島の娘、僕の青春なんてものはよかつた。しかし、一寸古い。古いだけに、そのまゝぢや面白くない』

『その通り。例へば、酒はアミダかワリカンか、こゝが氣前の見せ所……』

『あのハゲも、このハゲも、みんなピカピカ、私しや悲しいハゲ頭、ハゲるぢやないよ、ハゲるぢやないよ、ハゲりや、アイロンもまゝならぬウ……』

『ハア、縞の財布に、縞の財布に五十兩、主は辛かろ、私しや拾つて大もうけ…』

『金はあればうれしや、無けりや懷寒いよ、君の金、僕の金、金は誰でも使ふにゃ同じだよ、さあ一緒に使はうよ』

『まあこの邊まではいゝがね一つ怪しからんものが流行したね、あの、私のダイナつて奴さ』

『うん、あれは世道人心のために、僕も心ひそかに眉をひそめてゐたね、何だい、ありや』

『あゝ云ふものこそ、中央電話局あたりで嚴重に取締らなくちやいかんね』

『同感だ、一體どこが悪いんだい』

『何だい、譯も判らずに同感だつて云ふ奴があるかい。あれはつまりだ、あまりはやるからいけないんだ』

『あ、そうか、そうだね。同感だ』

『第一、あゝはやられちや、こつちの商賣上つたりだよ』

『いや大丈夫です。あんなものに敗けんです。私のダイナが何デス』

『いやそう昂奮しちや嫌よ』

『私、この[illegible]』

『變ですか』

『ネエ、ネエ』

『毆つて頂ダイナ』

〔哈爾濱之部〕

濱江省公署
省長 閻傳紱
總務廳長 金井章二
民政廳長 李[illegible]平
警務廳長 前田良治
實業廳長 葆康
教育廳長 梁[illegible]襄

哈爾濱特別市長
施履本

哈爾濱鐵路局長
佐原憲次

哈爾濱郵政管理局長
岐部與平

石橋茂

國際運輸株式會社
哈爾濱支店

營業科目
一、電燈電力の供給及其の附帶する事業の經營
二、當會社と同種事業に對する投資
資本金九千萬圓
滿洲電業株式會社
哈爾濱支店長 田村忠一
本社 新京大同大街康德會館
支店 大連、奉天、新京、ハルビン、營口、鞍山、安東、吉林、チチハル

宗像金吾

日[illegible]商會
小野嘉代二

登喜和百貨店
哈爾濱地段街

新開卓爾

大滿洲忽布麥酒株式會社
哈爾濱地段街五一

哈爾濱馬家溝
オリエンタル麥酒工場

大衆藥房
武田芳雄
哈爾濱地段街六六

哈爾濱南崗義州街三號
北滿藥房
電話六三一七番

ダイヤモンド、ウラル産諸寶石
貴金・屬、裝身具
井ノ子寶石店
モストワヤ街二五

哈爾濱
飲食店カフヱー組合

〔敦化之部〕

在吉林日本總領事館敦化分館
草野松雄
外館署員一同

敦化電業股份有限公司

本店 吉林省敦化
支店 吉林省蛟河
營業所 吉林省新站
專務取締役 增田清久

日本居留民會

關東軍御指定
御旅館 富士屋
撞球 富士倶樂部
電話二〇番

運送業
丸重洋行
電話六二番

敦化金融株式會社
電話一四七番

敦化吉川組出張所
電話八〇番

昭和旅館
敦化小東門外
電話四三番

陸軍御指定
日の出屋旅館
電話一一三番

敦化稅捐局

敦化土建組合

敦化凱旋通り
今城吳服店
電話一九六番

敦化
共立齒科醫院
九州學士 田中武士

謹賀新年

皇紀二五九六年

新京警察署
署長 廣石郁磨

新京地方委員
議長 大原萬千百

朝鮮總督府事務官
兼外務事務官
高尾甚造

新京郵便局
局長 石河積

新京交通股份有限公司
專務取締役 橋口勇九郎

新京頭道溝郵局
局長 齋藤忠士

新京取引人組合

新京附屬地
各學校長一同

記念公會堂理事會

新京鐵道出張所

國際運輸株式會社新京支店
支店長 宮原芳茂
支店長代理 上林季四

滿洲炭礦株式會社

新京輸入組合

新京藥業組合

新京建材商組合

新京賽馬俱樂部

北原紙店
北原廣

合資會社 石炭商
松茂洋行

榊谷組新京支店
新京中央通
電話(三)三二〇七番

石炭商
仁和洋行
三笠町三丁目
電話(三)二五八二番
三四七一番

滿洲醬油合資會社
營業所 新京蓬萊町一丁目八番地
第一工場 新京富士町三丁目七番地
第二工場 新京住吉町七丁目六番地
電話 營業所(3)二一七三番
第一工場 六二六〇番
第二工場 三四七一番

クスリ 調劑 化粧品 配達迅速
豐樂路藥局
豐樂路近埠街角
電話(二)一二八五番

福田商店
福田右一

日本證券現物社滿洲事務所
新發路帝都キネマ裏

恭慶す丙子の新春旦

建國第四年の盟邦に展開される祝賀の渦

東洋の寵兒滿洲國の榮え

日滿親和への初曙光

國歩堂々と輝しい躍進の途を歩んで來た盟邦滿洲國は建國第四年の春を迎へ彌榮に榮へ多幸な將來を約束せんとしてゐる、曠古に輝く皇帝陛下御訪日の盛儀によつて日滿不可分の緊密關係を强化した滿洲國の昭和十一年元旦は感激と歡喜にみち溢れてゐる、今日の佳き日に國都に展げられる祝賀祭典は左の通りである

日滿官民の萬歲唱和

賑はふ互禮會

正午から公會堂で開かる

總領事、特別市長、地方事務所主催の新年互禮會は一日正午記念公會堂に於て開催されるが南軍司令官、張國務總理以下日滿官民千二百名參集の豫定で、定刻開會一同國歌齊唱、川村前總領事の祝詞あり開宴、宴酣なる頃張國務總理の發聲で大日本帝國萬歲、南軍司令官の發聲で大滿洲帝國萬歲を三唱し、午後一時閉會の豫定である

新京神社祭典

新京神社では左の祭典を執り行はせられる

安全祈願祭（本祭は神職のみにて奉仕）一日午前零時神職一同幣殿にて中臣三度を奏す

天地四方を拜す

元旦祭　一日午前九時一同參列、式次第は祓式、開扉獻饌、祝詞奏上、玉串奉奠撤饌、閉扉、社務所にて納會（所要時間約四十分）

元始祭　三日午前十一時一同參列、祓式、開扉、獻饌、祝詞奏上、玉串奉奠、撤饌、閉扉、社務所にて直會（所要時間約四十分）

軍司令部

關東軍司令部の新年祝賀式は元旦午前九時半から軍司令部前庭において全員列席の下に行はれるが、式後御眞影を奉拜、同十時から祝宴が催される

新京憲兵隊

新京憲兵隊では一同午前九時憲兵隊司令部に參集、新年祝賀式並に遙拜式を行ふ

中央郵便局

新京中央郵便局の新年拜賀式は一日午前九時半より本局樓上局長室にて擧行されるが當日各課長以下局員市內各局所

關東局

午前九時半局員一同關東局分館に參集新年祝賀式並に遙拜式を擧げ各部長より挨拶あるはず

長參列荒木儲・貯金課長局員を代表して賀詞を述べ、終つて食堂にて祝賀宴を開く

新京警察署

新京署の新年拜賀式は一行一日午前九時より署員一同正裝にて署樓上講堂に參集、署員代表柴田警務主任、署長に賀詞を述べ席を改め祝杯を擧げ萬歲三唱散會

總領事館

一般拜賀受付

大使館員並に總領事館員は午前九時谷參事官々邸に參集、新年祝賀式並に遙拜式を擧行なほ總領事館の一般市民の拜賀受付は同九時四十五分から十時四十五分まで

學校拜賀式

新京商業學校は一日午前九時半から、中學校は同十時から高等女學校は同十時半から、また各小學校、公學校、普通學校は午前十時一齊に新年拜賀式を擧行する

滿洲國關係

康德三年新年の皇宮典禮事項

と總務廳の新年祝賀式及互禮會は次の如く擧行される

元旦　朝賀　午前十時

在京文官簡任及待遇禮遇以上

在京武官少將及待遇以上

二日　賜宴　午前十二時

在京文官簡任及待遇禮遇以上

三日　朝賀　午前十時

第一班在京文官薦任一至薦任四及待遇

在京武官上校至上尉及待遇

賜酒　十一時半

第二班在京文官薦任五至薦任八及待遇

在京武官中尉至少尉及待遇

總務廳

元旦

一、新年祝賀式次第

イ、午前九、〇〇一同會議室に集合整列

ロ、國旗に對し敬禮

ハ、國務總理大臣挨拶

ニ、一同敬禮　式を終る

二、食堂に酒肴の準備をなす式終了後一同參會互禮會を行ふ

イ、國務總理大臣發聲滿洲帝國萬歲三唱

ロ、閉會

新京鄉軍分會

在鄉軍人新京聯合分會の年始行事左の通り

△元旦

○神社參拜、（午前九時）

○御眞影拜賀式、（午前十時十分總領事館代表者二名、分會旗必携行）

△五日

○勅諭奉讀式、（午後一時公會堂）

○新年宴會、（右終了後記念公會堂食堂會費不要）

新春の劈頭を飾るスケート大會

夫々全滿、市民競技會を開く

滿洲國體育聯盟滑氷協會並に新京體育聯盟氷上部では新春劈頭を飾るスケート大會の開催について協議を重ねてゐたが、滿洲國側は一月十九日午前十時から西公園リンクで全滿氷上大會を華々しく開催、新京體育聯盟では二十六日午前十時から西公園リンクで中小學校生徒を主體とした一般市民氷上競技大會が開催される豫定である

熱河聖戰記念に櫻植付計畫

【承德國通】熱河聖戰により秘境の幕を剝がれて以來熱河は着々と堅實に然も急速な進歩を續けてゐる聖戰當時の西義一閣下と協力商震軍八千の敵兵を全滅せしめた步兵三十一聯隊第二大隊島村少佐の武勳を記念するため、今般現興隆地區の日商山口伍郎氏は明春の解氷を待つて、興隆と承德に國花櫻を植ゑ、其の名も「西櫻」「島村櫻」と命名する計畫を進め氏の鄕里に櫻の苗木を大量注文

滿洲國皇帝陛下

在留邦人の年賀を受けさせらる

滿洲國皇帝陛下には元旦午後零時半より同三時半迄宮內府に於て宮中席次第三階以下の席次を有する在留邦人の年賀を受けさせられる趣であるが希望者は右時間中に「モーニング」又は通常禮裝以上着用の上宮內府に赴くことになつてゐる

五常附近で岡田部隊の奮戰

【ハルビン國通】五常駐屯岡田部隊は廿三日夜十時頃張蓮科、德勝の合流匪約二百名が五常東北方約八キロの地點に蟠居中なるを知り第五治安工作班滿軍並に警察隊と協力し廿四日午前三時三十分五常を出發、五方面より包圍攻擊の結果全滅的損害を與へ之を擊退した、敵の遺棄屍體三十、鹵獲品小銃四、拳銃二、我方の損害は戰死一（一等兵土屋正美、靜岡縣出身）、重傷一（中尉佐藤儀一靜岡縣出身）

消防隊の出初め式

六日に擧行

滿鐵新京消防隊の出初式は一月六日午前九時より擧行されるが式は定刻サイレンを合圖に隊員全部同隊構內に整列服裝機械器具の點檢をなし終つて一同新京神社に參拜それより市內を遊行引揚げ祝宴を開き解散の豫定である

新制下の間島義倉

【延吉國通】間島省に於る義倉は元吉林省管轄に屬する時代、即ち民國四年十月吉林巡按使公署及び民國六年二月吉林省公署の義倉辦法によつて積穀を奬勵したるが如く民國七年七月に至り內政部令を以て義倉管理規則が制定發布され、これに順應して本格的に實施し來つたものであるが爾來これが運用紊亂を極め當局者もこれを惡用して私腹を計るに至り建國直後は有名無實の有樣であつた、而して康德元年間島省成立するや省當局に於ては義倉整理要項の暫行的辦法に基き漸次整頓し更に本年八月の新制義倉の管理規則により施行細則を制定し政府より義倉修理並に建築費として四千四十圓の補助金を受けた外義倉基本金として九千八百七十八圓の補助を受け尙本年春以來四回に亘り政府より配給を受けた窮民救濟糧穀八千百十一石（一石は日本の一石六斗に相當）現金一萬二千三百九十四圓も本秋より一應回收し義倉積穀に編入することとなつた

△縣別倉庫實施狀況

實施狀況左の如し

縣別	倉庫數	收容可能石數	見積價格圓
延吉	六	三、六〇〇	三、四〇〇
汪淸	五	三〇〇	一、九〇三
和龍	一〇	六〇三、九六〇	一六、四〇〇
琿春	四	八、〇〇〇	四、六二六
安圖	一	三〇・〇〇〇	一、七〇〇

合計　三六　一六六、三六〇　三六、一〇九

備考

一、新徵收率は一畝につき八合（代錢の場合は三錢の割）とす

二、斗量は新制斗量による

尙政府より指示せられたる最低積穀類は次の如くであつて本年度に於ける徵收期は十一月より翌年二月迄なので實際積穀數は不明であるが大體最低量は割らぬものと見られる

延吉二四、〇〇〇石、汪淸四、五〇〇石、和龍六、〇〇〇石、琿春六、〇〇〇石安圖一、五〇〇石、合計四二、〇〇〇石

『海上雲遠』

謹詠

新京櫻菜會　加藤金保

◇ひんがしのみ空はるかに八重雲のたなびきわたる朝なぎの海

◇朝の海靜かに明けてはるかなるみ空に高し旗雲なびく

◇朝日さす大海原のうち光りはるかの沖に青雲たなびく

◇わたつみの青雲はるか陽はさして東の空のきらめきて見ゆ

◇わき出ずる水にはあらで青雲のつらなる沖にあさ陽さすらむ

郵便貯金現在高十三億餘圓

【東京國通】遞信省發表＝十二月廿八日を以て締切りたる十二月中に於ける郵便貯金預入人員十三萬七千百九十九人の增加豫金額千百六十萬八千二百七十八圓の減少となり、その結果月末現在高は預入人員四千五百四十萬七千六百九十八人、預金額三十一億千二百四十五萬七千七百十四である

銀行合同の實績擧る

【東京國通】大藏省發表によれば昭和十年一月以降十二月までの銀行合同狀況は消滅十三行に對し增加（創立）二行で差引十一行の減少を示したこれは當局の銀行合同干涉が着々效を奏してゐることを物語るもので、結局十二月末現在の銀行數は五百四十五行（普通銀行四百十六、貯蓄銀行七十九）となつた

記念公會堂の正月興行

一月中に於ける記念公會堂の興行物は左の通り

一、二日浪曲京山佳千代△三、四、五日浪曲大浦一朗△六、七、八、九、十日萬歲大津お萬△十四、五、六日東京歌舞伎市川團十郎一座△十八、九、二十日浪曲宮川左近△二十一、二、三日奇術松旭齋天華△二十六日白系露人假裝舞踏會△三十一日、二月一、二日東京少女歌劇團

新京醫院の診療受付

滿鐵新京醫院における年始受付は左の通り

一日休業、二日午前中（受付午前十時まで）、三日休業、四日午前中（受付午前十時まで、五日休業、六日から平常通り

勅題 海上雲遠

新京花街 子歲うまれ

（寫眞は染千代、千代鶴、竹千代、花千代、おもちや、一菊、力彌、一惠、吉丸、榮龍）

新京花街の姐さん達のうち、と云つても附屬地の第一料理店組合と橋東のダイヤ街の分だけですが、子歲うまれ二十五歲のアブラの乘つたところを子歲に因んで恒例通り御紹介する　括弧內は出身地

▲八千代館

染千代　富士本正子（大阪）

千代鶴　尾野志摩枝（兵庫）

竹千代　鈴木美代（東京）

花千代　木村マツ（橫濱）

▲開花

おもちや　三好吉枝（東京）

一菊　平野美代（滋賀）

力彌　櫻井久子（宮崎）

▲曙

照若　山崎ゆき（東京）

▲彌生

金香　鷲衛キク（宮崎）

文香　鈴木フエ（東京）

▲すみれ

千鶴子　宮崎マサ（福岡）

▲千鳥

一惠　鎌田まさ江（京都）

吉丸　星野ヤス（東京）

▲南海

朝香　津田トシエ（熊本）

▲翠廼家

榮龍　內藤まつ子（名古屋）

▲新杵

小ふみ　谷チヨ（佐賀）

一若　政井クニ（北海道）

▲錦

偉龍　堀井靜江（大分）

▲國家

美津次　龍宮ヨシ子（熊本）

▲千草

美代治　原田ツル子（島根）

小萩　渡邊美都子（山口）

千代香　野口リナ（宮崎）

▲泰東

米子　下川ノブ（鹿兒島）

▲氷月

一八　富高マスエ（大分）

▲梅月

梅鶴　藤野勝美（愛媛）

梅蝶　原フエ子（福岡）

梅さく　鹿毛シヅ（福岡）

▲時雨

年丸　北越キミ（北海道）

▲菊本

小龍　中村ヨシ子（奈良）

▲勝樂

勝治　三浦フヤノ（福岡）

以上が第一料理店組合ダイヤ街の方では

▲都席

福助　棚橋藤枝（靜岡）

▲松村席

扇太郎　杉岡初枝（廣島）

これで卅二名でありますがこれは十二月中旬現在で、年末に押迫つて多少の異動があつたかも知れません、寫眞は手に入つたゞけ

女流浪曲王

女流浪曲界の最高峰

京山華千代

秘曲

南部坂雪の別れ

高田の馬場

乃木將軍

日蓮上人

片田落

濡烏戀の旅日記

齊藤內藏之助

一行連名

京山若華　二見洋洲

京山みどり　潮寶舟

富士早雲　吉田一平

京山神風　三絃 藤井實

余興

都々逸

博多節

米山甚句

追分

二上り

其の他

・入場料・

大人 壹圓

小人 五十錢

主催者 値木興行部

太夫元 林田關治郎

期日正月一日二日二日間（元旦開演午後六時）

於 記念公會堂

日本一おたふくわた

謹賀新年

待望の麒麟兒

スポーツ浪曲創始

大浦一朗

一月三日四日五日 晝夜二回 午前十一時より 午後五時半より

後援 滿鐵社會係 福岡縣人會

主催 大浦一朗新京後援會

初御目見得 於記念公會堂 破格入場料（前賣券一圓拾錢 普通券一圓卅錢）前賣券は各理髮店並有名商店岡女庵等にあり

大浦一朗師紹介の御挨拶

謹賀新年、皆樣には益々御多祥の段奉欣賀候扨說這度御錦地へ初出演仕候スポーツ浪曲の創始者大浦一朗師は小生等と有緣の年少友人にてその藝風は新味橫溢元氣潑剌特にその美聲妙節は浪界の驚異とするに足る天才に御座候へば小生等同樣何卒御後援御鞭撻の程伏して奉希上候也

頓首再拜

滿洲愛浪家各位

壽々木米若

酒井雲

米と酒

新年の御慶

芽出度申納候

新春より何卒灘の生一本で

舊年に倍し御奮鬪祈上候

銘酒

松竹梅

黑松白鹿

菊正宗

白鹿

發賣元

西村洋行

ダイヤ街　電話　三五一四一〇五一八

謹賀新年

皇紀二五九六年

新京地方委員
前田伊織

新京地方委員
長崎平次郎

新京取引所信託株式會社
專務取締役
山下善代

樺太商店
穴澤喜壯次

金華寮
石井亥之吉
中央通一一五
電話(3)四八二四番

滿鐵新京醫院

大連不動産信託有限公司
專務董事
鈴木英一
新京特別市北大街

福信金融株式會社

大阪商船株式會社
新京事務所

寶山洋行
營業主任
國吉武夫

大信洋行新京支店
支配人
村上照

松田商會
松田彌三郎
大馬路四九
電話(2)四七六八番 三九四九番

三省堂製本所
新京三笠町三ノ九
電話(3)三三三四番

新京
加藤洋行支店
新京日本橋通
電話(3)二七三一番

生花盆栽
村田道遙園
村田清一

丸德商店主
堀川德太郎

笘元醫院
新京ダイヤ街
電話(3)五六一六番

鳳三堂
梅ヶ枝町三丁目二八
電話(3)六八〇七番

首都乘用馬車人力車組合

曉食堂
吉野町四丁目三番地
電話三―六七三一番

撞球場
祝俱樂部
祝町太子堂前
電話三―三三四七番

新京滿鐵石炭指定販賣店一同

銘酒
日本晴
福鶴
冷用福鶴
釀造元
石川酒造場
代表者 石川千代次
新京吉野町五丁目
電(3)三三五三番 四八七〇番

第一 第二 第三 第四 第五
錦ビル經營者
山口正太
新京錦町三丁目七番地
電話(三)六三八五番

新京
日滿理髮業組合

新京
城內料理店組合

新京カフヱー組合

(イロハ順)

店名	所在	電話
イナヅマ	八島通	電三・五八七〇
ロートル	吉野町	電三・二〇七二
ハト	祝町	電三・三八四六
初音	吉野町	電三・五六一三
白馬	富士町	電三・五四二六
春	永樂町	電三・二六九四
箱根	大和通	電三・三二三二
バツカス	東二條通	電三・三五八四
ポプラ	東一條通	電三・二九七二
トリオ	東二條通	電三・五三三一
東洋軒	東一條通	電三・二四三六
大陸	祝町	電三・六二二九
バーダイヤ	梅ヶ枝町	電三・六一四八
ライオン	三笠町	電三・三三七九
バーラツキー	老松町	電三・三八九四
梅園	三笠町	電三・六一五六
ノラ	祝町	電三・六七七三
クロバー	吉野町	電三・四〇四三
滿洲	東三條通	電三・四八八二
マスコツト	三笠町	電三・二八六九
マルセーユ	三笠町	電三・五九二九
富士	富士町	電三・三四五六
プランタン	永樂町	電三・四七八五
二葉	吉野町	電三・二九四二
香閣	富士町	電三・五五四七
ゴンドラ	永樂町	電三・三四七四
コンパル	日出町	電三・六三三二
國都樂園	日本橋通	電三・五九五九
アリス	八島通	電三・上二四九四 下二四九三
亞細亞	日出町	電三・六六五七
赤玉	東一條通	電三・四八五〇
亞細亞會館	東二條通	電三・五七一五
サクラ	老松町	電三・五五四八
銀座	富士町	電三・六一〇四
銀パレス	吉野町	電三・六九三〇
キング	祝町	電三・四二八九
銀麗	入船町	電三・三三九〇
ミス東洋	南廣場	電三・五八二〇
ミツワ	三笠町	電三・三八八九
ミフキ	祝町	電三・二〇〇一
ミス新京	東四條通	電三・三七三三
松竹	三笠町	電三・五七三三
處女林	永樂町	電三・五五七二
バーシルバー	梅ヶ枝町	電三・五八二六
美人座	東一條通	電三・二二九三
モカ	日本橋通	電三・六八三五
モナミ	三笠町	電三・二九三〇 三三六二〇
モダン銀座	吉野町	電三・五七三三
モンパリ	朝日通	電三・三四二〇
清光	東一條通	電三・二五五四
精養軒	同	電三・上六八四六 下二三〇六
世界	吉野町	電三・六九三六